

平成 29 年 度
総合計画政策評価結果



平成 30 年 9 月
袋 井 市

目 次

1	「政策評価」とは	2
	(1) 「政策評価」の位置付けと役割	
	(2) 取組経過	
	(3) 「政策評価」の対象と手法	
	(4) 評価の作成と活用の流れ	
	【総合計画推進（政策評価等）のイメージ】	
2	政策・取組体系図	3
3	取組に対する市民ニーズ	4
4	政策評価結果	5
5	取組別評価シートの見方	9
6	取組別評価結果	11

1 「政策評価」とは

(1) 「政策評価」の位置付けと役割

袋井市では、袋井市総合計画に基づき、市民に開かれた市政運営を推進するため、平成23年度から政策・取組レベルでのPDCAの仕組みを構築（体系化）し、結果を公表しています。

「政策評価」は、政策・取組ごとに、指標目標（成果）や事業内容等をできる限り客観的に評価（チェック）し、今後の方向性などを展望（業務改善）することで、総合計画における事業全体の推進を図り、多様化する市民ニーズに対応した個性あるまちづくりを目指して実施するものです。

また、政策評価の結果は、市民の皆様にも広く公表するとともに、今後の施策や事業の改善をはじめ、重点化すべき施策の検討に活用します。

(2) 経過

平成23年度～（第1次）総合計画前期基本計画の評価実施

平成24年度～（第1次）総合計画後期基本計画の評価実施

平成29年度～ 第2次総合計画前期基本計画の評価実施

(3) 「政策評価」の対象と手法

ア 評価の対象

第2次総合計画前期基本計画に掲載した本市が目指すべき基本的方向である“6政策”と、政策をより具体化した行政活動の目標となる“27取組”について、それぞれの評価を行っています。

イ 評価の手法

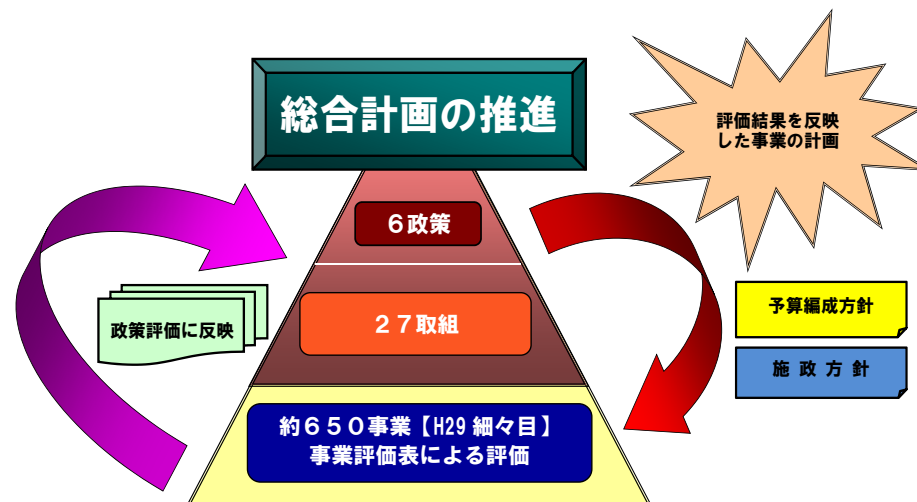
国内外の最新の情勢や社会潮流に加え、指標の進捗状況、県内他市との比較、市民意識調査結果などを踏まえ、本市の現状を分析し、各取組を4段階（順調・概ね順調・一部改善・改善）で評価し、今後の展開方向を展望します。

さらに、6つの政策について、各政策に属する取組の評価結果から、各政策を4段階（A～D）で評価し、今後の政策・取組の方向性を定めていきます。

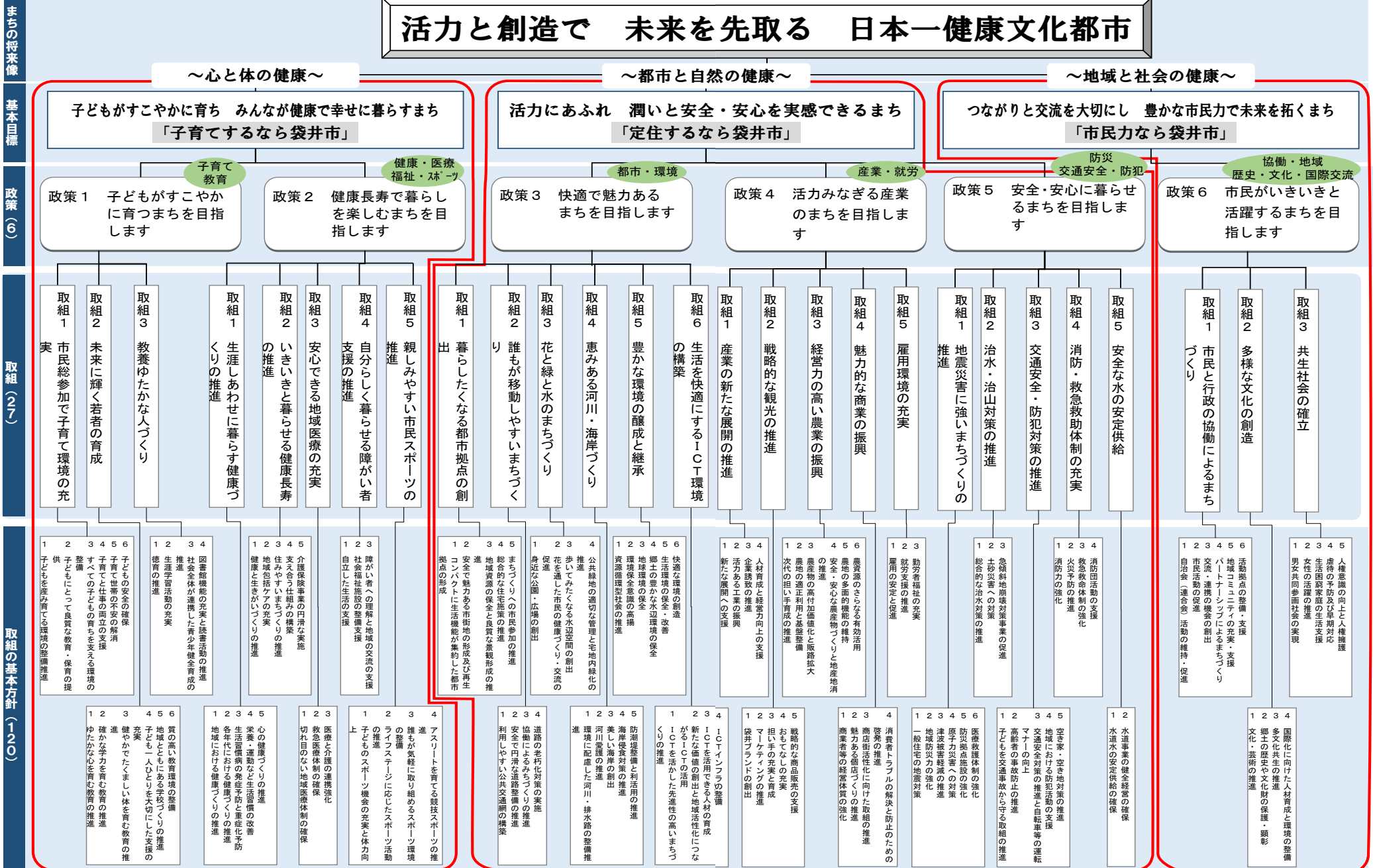
(4) 評価の作成と活用の流れ

- ・平成30年5月 事務事業評価実施
- ・平成30年8月 行政経営会議にて政策評価（案）を協議
- ・平成30年9月 市議会（常任委員会）に政策評価結果を報告
- ・平成30年10月 市ホームページにて政策評価結果を公表
次年度予算編成に政策評価結果を活用
- ・平成31年2月 市議会にて次年度予算の審議
- ・平成31年3月 次年度予算の確定

【総合計画推進（政策評価等）のイメージ】



2 政策・取組体系図



3 取組に対する市民ニーズ

総合計画に位置づける全 27 取組に対する市民ニーズを把握するため、平成 30 年5月に実施した市民意識調査で得られた、各取組の重要度と満足度について、平均値を基に、4つの区分に分け、表示しています。

例えば、重要度が高く、満足度が低い(下図 D 領域)取組は、市民が感じている重点課題と言えます、「1-2 未来に輝く若者の育成」、「2-4 自分らしく暮らせる障がい者支援の推進」、「3-2 誰もが移動しやすいまちづくり」、「4-5 雇用環境の充実」、「5-2 治水・治山対策の推進」の5つの取組が挙げられます。

A 成果検証

重要度：平均点未満
満足度：平均点以上
重要性の認識は低いが、取組に対する満足度は高く、一定の成果を上げているため、必要性を検証し適切な対応が望まれます。

B 継続推進

重要度：平均点以上
満足度：平均点以上
重要性の認識も取組に対する満足度もともに高く、現在の水準を下げないように継続的な対応が望まれます。

C 検討課題

重要度：平均点未満
満足度：平均点未満
重要性の認識は低く、取組に対する満足度も低く、必要性の検証や取組内容の見直しなどを検討し適切な対応が望まれます。

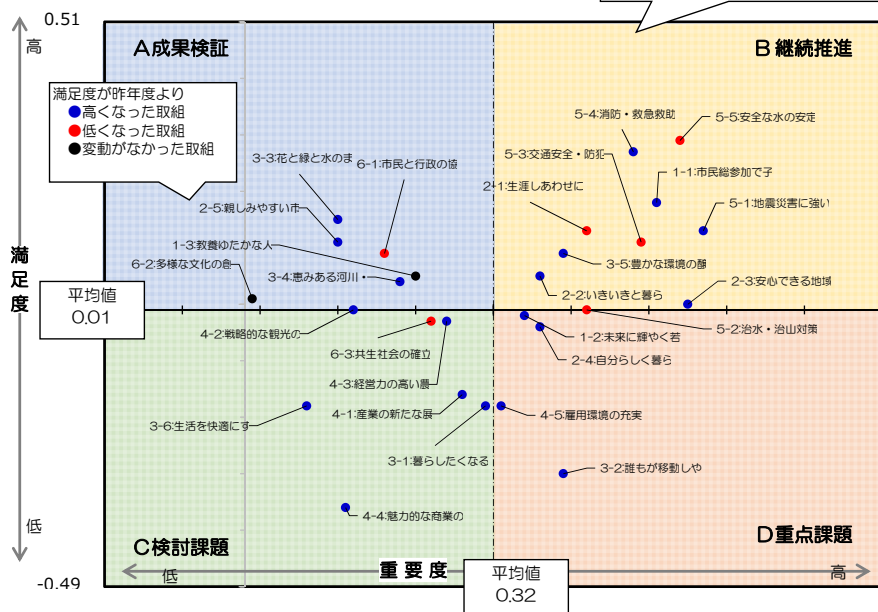
D 重点課題

重要度：平均点以上
満足度：平均点未満
重要性の認識は高いが、取組に対する満足度は低く、他区分の取組に優先した重点的な対応が望まれます。

市民意識調査で得られた、取組ごとの重要度と満足度を点数化しています。
例えば、満足度の場合、4段階の区分に対して
満足…(+1.0)
やや満足…(+0.5)
やや不満足…(-0.5)
不満足…(-1.0)
の係数と人数を乗じた値となります。

満足度の平均値は、0.01
重要度の平均値は、0.32 です。

重要度・満足度のそれぞれの平均を中心に4つのゾーンに分けます。



市民ニーズ(満足度・重要度)の経年比較

各取組における市民の「満足度」認識を昨年度と比較した場合の、上位・下位それぞれ5取組を表記しています。

順位	政策 取組	取組名	H28	H29	比
1	政策 1 取組 2	未来に輝く若者の育成	-0.10	-0.01	+0.09
2	政策 1 取組 1	市民総参加で子育て環境の充実	0.11	0.19	+0.08
3	政策 4 取組 4	魅力的な商業の振興	-0.41	-0.35	+0.06
4	政策 5 取組 4	消防・救急救助体制の充実	0.23	0.28	+0.05
4	政策 4 取組 2	戦略的な観光の推進	-0.05	0.00	+0.05

22	政策 5 取組 5	安全な水の安定供給	0.31	0.30	-0.01
22	政策 6 取組 1	市民と行政の協働によるまちづくり	0.11	0.10	-0.01
24	政策 2 取組 1	生涯しあわせに暮らす健康づくりの推進	0.16	0.14	-0.02
24	政策 5 取組 3	交通安全・防犯対策の推進	0.14	0.12	-0.02
24	政策 5 取組 2	治水・治山対策の推進	0.02	0.00	-0.02
27	政策 6 取組 3	共生社会の確立	0.02	-0.02	-0.04

次に、各取組における市民の「重要度」認識を昨年度と比較した場合の、上位・下位それぞれ5取組を表記しています。

順位	政策 取組	取組名	H28	H29	比
1	政策 3 取組 1	暮らしがよくなる都市拠点の創出	0.20	0.31	+0.11
2	政策 5 取組 2	治水・治山対策の推進	0.36	0.44	+0.08
3	政策 3 取組 2	誰もが移動しやすいまちづくり	0.34	0.41	+0.07
3	政策 3 取組 6	生活を快適にするICT環境の構築	0.01	0.08	+0.07
5	政策 4 取組 1	産業の新たな展開の推進	0.22	0.28	+0.06

23	政策 2 取組 1	生涯しあわせに暮らす健康づくりの推進	0.46	0.44	-0.02
23	政策 2 取組 4	自分らしく暮らせる障がい者支援の推進	0.40	0.38	-0.02
25	政策 4 取組 3	経営力の高い農業の振興	0.29	0.26	-0.03
26	政策 4 取組 5	雇用環境の充実	0.37	0.33	-0.04
26	政策 3 取組 3	花と緑と水のまちづくり	0.16	0.12	-0.04

数値のプラス幅が大きいほど、市民の満足度又は重要度がより高まった取組で、一方、数値のマイナス幅が大きいほど、市民の満足度又は重要度が低まった取組と言えます。

この結果を踏まえ、各取組に位置づけられる事業の見直しを検討するとともに、成果のPR方法を改善していきます。

また、今後、3 年目以降のデータを収集する中で、比較分析を重ね、市民ニーズを的確に捉えた取組・事業を進めてまいります。

4 政策評価結果

第2次総合計画前期基本計画の2年目となる平成29年度の政策評価を行った結果、6つの政策のうち、「概ね順調」が4政策、「一部に改善を要する」が2政策という結果となりました。

また、27の取組では、「順調」が1取組、「概ね順調」が16取組、「一部に改善を要する」が10取組となりました。

今回の政策評価結果を踏まえ、限られた経営資源を最大限活用し、着実な成果が上げられるよう、市政運営に取り組んでいきます。

6 政策の評価結果

評価	A (順調)	B (概ね順調)	C (一部改善)	D (改善)	計
取組数	0	4	2	0	6
評価B【概ね順調である】 政策2 健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します 政策3 快適で魅力あるまちを目指します 政策5 安全・安心に暮らせるまちを目指します 政策6 市民がいいきと活躍するまちを目指します					
評価C【一部に改善を要する】 政策1 子どもがすこやかに育つまちを目指します 政策4 活力みなぎる産業のまちを目指します					

27取組の評価結果

評価	A (順調)	B (概ね順調)	C (一部改善)	D (改善)	計
取組数	1	16	10	0	27
順調【1取組】 政策3-6：生活を快適にするICT環境の構築					
概ね順調【16取組】 政策1-3：教養ゆたかな人づくり 政策2-3：安心できる地域医療の充実 政策3-1：暮らしがよくなる都市拠点の創出 政策3-5：豊かな環境の醸成と継承 政策4-5：雇用環境の充実 政策5-2：治水・治山対策の推進 政策5-4：消防・救急救助体制の充実 政策6-1：市民と行政の協働によるまちづくり 政策2-1：生涯しあわせに暮らす健康づくりの推進 政策2-4：自分らしく暮らせる障がい者支援の推進 政策3-3：花と緑と水のまちづくり 政策4-1：産業の新たな展開の推進 政策5-1：地震災害に強いまちづくりの推進 政策5-3：交通安全・防犯対策の推進 政策5-5：安全な水の安定供給 政策6-3：共生社会の確立					
一部に改善を要する【10取組】 政策1-1：市民総参加で子育て環境の充実 政策2-2：いきいきと暮らせる健康長寿の推進 政策3-2：誰もが移動しやすいまちづくり 政策4-2：戦略的な観光の推進 政策4-4：魅力的な商業の振興 政策1-2：未来に輝く若者の育成 政策2-5：親しみやすい市民スポーツの推進 政策3-4：恵みある河川・海岸づくり 政策4-3：経営力の高い農業の振興 政策6-2：多様な文化の創造					

政策1 子どもがすこやかに育つまちを目指します	政策評価				
	H28	H29	H30	H31	H32
	C	C			
取組	取組評価				
	H28	H29	H30	H31	H32
取組1 市民総参加で子育て環境の充実	2 (一部改善)	2 (一部改善)			
取組2 未来に輝く若者の育成	2 (一部改善)	2 (一部改善)			
取組3 教養ゆたかな人づくり	3 (概ね順調)	3 (概ね順調)			
平均値	2.3	2.3			

取組別評価結果 順調：4 概ね順調：3 一部に改善を要する：2 改善を要する：1
 平均値 A：4～3.6 B：3.5～2.6 C：2.5～1.6 D：1.5～1

【平成29年度の主な取組】

- ◎今後の就学前教育・保育の方向性について、「就学前の子どもの教育・保育のあり方に関する基本方針」として、概ね今後の10年間における、教育・保育の質の向上と財政的観点から踏まえた施設整備の考え方をまとめた。
- ◎待機児童の解消に向け、認証保育所の認可にあたっての移行支援を行ったほか、JR袋井駅南地区への保育所設置に向けて、事業者との調整を行った。
- ◎幼小中一貫教育の推進に向け、平成29年3月に策定した袋井市幼小中一貫教育基本方針に基づき、標準カリキュラムの策定や校区における準備に取り組んだ。
- ◎宅地開発等による児童・生徒数の増加に伴う教室不足に対応するため、袋井北小学校と周南中学校の校舎増築が完了し、教育環境の充実を図った。
- ◎ICTを活かした教育は、2中学校に電子黒板の整備とICT支援員を配置した。また、ICT機器を活用した授業公開を行い、学校間で効果的な活用を共有化した。
- ◎児童・生徒の英語力の向上を目指し、小学校3～6年生と中学生を対象としたイングリッシュ・デイキャンプや小中学生の英検チャレンジ事業を実施した。また、「袋井市英語教育推進プロジェクト委員会」を設置し、市の英語教育推進の進捗管理と検討を行った。

【今後の展開方向】

- ◎子育て支援の推進にあっては、保育所待機児童ゼロを目指し、市内の保育施設等の定員増に努め、平成34年4月の「(仮称)袋井南認定こども園」の開園に向けた準備を進めるとともに、民間による保育施設の新設を支援するほか、企業主導による保育施設の設置を働きかけていく。また、放課後児童クラブの定員拡大に伴い、担い手となる指導員の確保を支援していく。
- ◎教育の充実にあっては、平成32年の学習指導要領改定に合わせ、自立力と社会力を備えた15歳の姿を小中学校で共有し、一貫した教育を推進する。幼小中一貫教育の推進を事業の中心に据え、基礎学力・英語力・ICTを活用する力の向上を図っていくとともに、体力向上についても計画的に取り組んでいく。

政策2 健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します	政策評価				
	H28	H29	H30	H31	H32
	B	B			
取組	取組評価				
	H28	H29	H30	H31	H32
取組1 生涯しあわせに暮らす健康づくりの推進	3 (概ね順調)	3 (概ね順調)			
取組2 いきいきと暮らせる健康長寿の推進	3 (概ね順調)	2 (一部改善)			
取組3 安心できる地域医療の充実	3 (概ね順調)	3 (概ね順調)			
取組4 自分らしく暮らせる障がい者支援の推進	3 (概ね順調)	3 (概ね順調)			
取組5 親しみやすい市民スポーツの推進	2 (一部改善)	2 (一部改善)			
平均値	2.8	2.6			

取組別評価結果 順調：4 概ね順調：3 一部に改善を要する：2 改善を要する：1
 平均値 A：4～3.6 B：3.5～2.6 C：2.5～1.6 D：1.5～1

【平成29年度の主な取組】

- ◎働く世代からの健康づくりを推進するため、「歩く(歩数)」を主として、気軽に取り組める新たなサービスとして、「#2961ウオーク」を開発した。
- ◎地域が主体となった健康づくりを推進するため、公民館などでの健康教室の開催や、地域の健康運動の取組への指導者派遣、地域における健康づくりを支える人材を育成するための講習会などを行った。
- ◎地域医療の充実に向け、関係機関の協力により、袋井市休日急患診療室を運営するとともに、平日夜間の開業医在宅輪番方式と合わせて通常診療時間外の一次救急医療を実施した。
- ◎スポーツドリームの推進は、2019年のラグビーワールドカップの開催に向けて、エコパで行われた日本代表戦や、開催2年前イベント等において気運を醸成する様々な取組を行った。また、市内小学校でのタグラグビー教室や教員向けのタグラグビー指導者講習会を実施し、ラグビー普及に努めたほか、様々な機会で開催ブースを設け、PRを行った。
2018年のインターハイ弓道競技大会開催に向けPR活動を行ったほか、2020年の東京五輪に向け、事前キャンプの誘致活動を行った。
- ◎PFI手法で進めている総合体育館の整備は、基本設計及び実施設計を行うとともに、既存施設(旧パイオニア体育館など)の解体、周辺道路整備を行った。

【今後の展開方向】

- ◎地域包括ケアシステムの構築に向けて、市と各地域のまちづくり協議会、コミュニティセンター、地域包括支援センターをはじめ関係者が相互に連携して、地域の見守りや身近な困りごとを地域で解決できる支えあいの体制を築いていく。
- ◎健康づくりの推進にあっては、健康教室や介護予防教室など、地域が主体となった活動の充実に向けた取組を行うとともに、地域間の格差が生じないよう支援していく。
- ◎スポーツの推進では、ラグビーワールドカップ開催を機に、ラグビーの普及を図るとともに、スポーツドリームを通じて、市民のスポーツ全体への関わりを深め、指導者や運営への参加者など、「スポーツを支える」人材の育成にも努めていく。

政策3
快適で魅力あるまちを目指します

	政策評価				
	H28	H29	H30	H31	H32
	B	B			
取組	取組評価				
	H28	H29	H30	H31	H32
取組1 暮らしやすくなる都市拠点の創出	3 (概ね順調)	3 (概ね順調)			
取組2 誰もが移動しやすいまちづくり	3 (概ね順調)	2 (一部改善)			
取組3 花と緑と水のまちづくり	3 (概ね順調)	3 (概ね順調)			
取組4 恵みある河川・海岸づくり	2 (一部改善)	2 (一部改善)			
取組5 豊かな環境の醸成と継承	3 (概ね順調)	3 (概ね順調)			
取組6 生活を快適にするICT環境の構築	3 (概ね順調)	4 (順調)			
平均値	2.8	2.8			

取組別評価結果 順調：4 概ね順調：3 一部に改善を要する：2 改善を要する：1
平均値 A：4～3.6 B：3.5～2.6 C：2.5～1.6 D：1.5～1

【平成29年度の主な取組】

- ◎都市づくりの基本理念・基本目標・将来都市構造などを定める全体構想や地域別構想等について、庁内策定委員会や幹事会、有識者で組織する懇話会、さらに地域別説明会にて検討を重ねた上で、平成30年3月に「都市計画マスタープラン」を改定した。
- ◎袋井駅南地区まちづくりは、市の玄関口にふさわしいにぎわいの充実を図るため、業務代行方式の組合土地区画整理事業による商業地区、住環境の改善を目的とする袋井駅南都市拠点地区土地区画整理事業、民間開発により進めるメディカル地区の事業推進に向けて地域組織への支援を行った。
- ◎みつかわ夢の丘公園は、管理棟や大型複合遊具など、施設整備や植栽工事を実施し、平成30年3月25日に開園した。
- ◎袋井幸浦の丘プロジェクトは、豊沢工業団地の開発発生土を活用し、防潮堤整備工事を実施するとともに、周辺施設を含めた利活用を推進するため、ワークショップを開催した。
- ◎「働き方改革」を推進するとともに、IT企業のオフィスを誘致することで地域の活性化につなげていくため、サテライトオフィスの誘致に向けた社会実験を実施した。

【今後の展開方向】

- ◎暮らしやすくなる都市拠点の創出にあっては、まち全体に”にぎわいと活力”を創出するため、袋井駅南都市拠点土地区画整理事業及び袋井駅南地区まちづくり事業を進めていく。
- ◎公共建築物やインフラ施設の老朽化対策にあっては、予防保全に努めるとともに、必要な修繕と長寿命化のための対策を行っていく。
- ◎公園や河川堤防の維持管理にあっては、高齢化に伴い、自治会等による活動が困難となっていることから、担い手の確保に努めていく。

政策4
活力みなぎる産業のまちを目指します

	政策評価				
	H28	H29	H30	H31	H32
	C	C			
取組	取組評価				
	H28	H29	H30	H31	H32
取組1 産業の新たな展開の推進	3 (概ね順調)	3 (概ね順調)			
取組2 戦略的な観光の推進	2 (一部改善)	2 (一部改善)			
取組3 経営力の高い農業の振興	2 (一部改善)	2 (一部改善)			
取組4 魅力的な商業の振興	2 (一部改善)	2 (一部改善)			
取組5 雇用環境の充実	3 (概ね順調)	3 (概ね順調)			
平均値	2.4	2.4			

取組別評価結果 順調：4 概ね順調：3 一部に改善を要する：2 改善を要する：1
平均値 A：4～3.6 B：3.5～2.6 C：2.5～1.6 D：1.5～1

【平成29年度の主な取組】

- ◎中長期的な視点に立ち、安定した雇用環境の維持と所得の向上に向けた本市の産業の目指すべき姿を考えるため、産業経済懇話会を実施し、分野ごとにテーマを定め、ゲストスピーカーを招き、講演やパネルディスカッションを行い、委員から意見をいただいた。
- ◎豊沢工業団地整備では、トッパン・フォームズ東海株式会社とトッパン・フォームズ・サービス株式会社の進出が決定し、関連する河川護岸整備も完了した。小笠山山麓開発では、農振農用地区域の除外に係る手続きを完了したほか、企業の進出に向けた協議を開始した。
- ◎主要農産物の一つである、クラウンメロンの海外輸出を促進するため、香港大手企業とのコラボによる「クラウンメロンケーキ」の発売や香港現地での市長トップセールスのほか、国内での一般消費の拡大に向け、名古屋市で品評会を行った。
- ◎インバウンド観光を推進するため、農産物や歴史文化などの地域資源を活かした観光キャンペーンをはじめ、モニターツアーの開催や各種パンフレットの翻訳など、本市の豊富な観光資源を活かした着地型観光推進事業を展開し、国内外からの観光誘客を図った。
- ◎3Days Worker's Office 構想の実現に向け、新たに開設されたTaskaru ネットワーク事務局による「高齢者の担い手づくり」、「新しい働き方・しごとづくり」、「高齢者・企業双方への普及啓発」が速やかに取り組めるよう支援を行った。

【今後の展開方向】

- ◎産業構造が変化する中、市内企業の成長支援を図るため、商工団体や静岡理科大学などと連携し、新技術・新製品の開発をはじめ、ICT活用による生産性向上の推進など、市内中小企業の取組を積極的に支援し、域内経済の循環を強めていく。
- ◎観光振興にあっては、スポーツやサイクリングを活かした滞在型観光プランや地域資源を活かした体験プログラムを創出するほか、静岡デスティネーションキャンペーンなどとも連携してインバウンドの強化に努め、特産品の消費や観光施設への誘客を促進する。
- ◎雇用の確保に向けては、3Days Worker's Office 構想の実現に向け、生涯現役促進地域連携事業を推進していくほか、高校生と企業をつなぐ機会を設けていく。

政策5 安全・安心に暮らせるまちを目指します	政策評価				
	H28	H29	H30	H31	H32
	B	B			
取組	取組評価				
	H28	H29	H30	H31	H32
取組1 地震災害に強いまちづくりの推進	2(一部改善)	3(概ね順調)			
取組2 治水・治山対策の推進	4(順調)	3(概ね順調)			
取組3 交通安全・防犯対策の推進	3(概ね順調)	3(概ね順調)			
取組4 消防・救急救助体制の充実	3(概ね順調)	3(概ね順調)			
取組5 安全な水の安定供給	3(概ね順調)	3(概ね順調)			
平均値	3.0	3.0			

取組別評価結果 順調：4 概ね順調：3 一部に改善を要する：2 改善を要する：1

平均値 A：4～3.6 B：3.5～2.6 C：2.5～1.6 D：1.5～1

【平成29年度の主な取組】

- ◎袋井消防庁舎・袋井市防災センターの平成32年4月開署に向け、建設地の造成工事と周辺の上下水道工事を実施した。
- ◎自助の推進を図るため、木造住宅の耐震補強、家庭内家具等の転倒防止、感震ブレーカーの設置を助成し、家庭内減災対策を進めた。
- ◎洪水被害の防止と浸水常襲地区における浸水被害の解消を図るため、河川改修や雨水貯留施設を整備するなど、治水対策を実施した。
- ◎交通安全の推進に向け、安全で安心な通行を確保するため、道路反射鏡や区画線設置などの交通安全施設を整備した。また、交通指導や交通安全啓発を関係機関と連携して実施したほか、高齢者の交通事故が増加している現状を踏まえ、交通安全キャンペーンや交通安全教室の実施等、高齢者を対象とした対策を実施した。
- ◎災害に備えるため、水道施設における基幹管路の耐震化及び老朽化した配水管の更新を実施した。

【今後の展開方向】

- ◎地域防災力の強化にあつては、袋井消防庁舎及び袋井市防災センターの平成32年4月の開署に向けた施設整備を進めていく。
また、地震発生時の既存建築物等の倒壊による災害を未然に防止するため、木造住宅の耐震補強やブロック塀等の耐震改修への助成を促進していく。
- ◎県などの関係機関とも連携し、河川改修などの治水対策を進めるとともに、最大規模の降雨の浸水想定に基づいたハザードマップを作成し、市民に対して災害リスクの周知を徹底していく。
- ◎水道施設の更新にあつては、中長期的な経営の視点に立った「アセットマネジメント計画」を平成30年度に策定し、財政収支バランスを図った上で、計画的に進めていく。

政策6 市民がいいきと活躍するまちを目指します	政策評価				
	H28	H29	H30	H31	H32
	C	B			
取組	取組評価				
	H28	H29	H30	H31	H32
取組1 市民と行政の協働によるまちづくり	2(一部改善)	3(概ね順調)			
取組2 多様な文化の創造	2(一部改善)	2(一部改善)			
取組3 共生社会の確立	3(概ね順調)	3(概ね順調)			
平均値	2.3	2.7			

取組別評価結果 順調：4 概ね順調：3 一部に改善を要する：2 改善を要する：1

A：4～3.6 B：3.5～2.6 C：2.5～1.6 D：1.5～1

【平成29年度の主な取組】

- ◎市民と行政との協働による特色ある地域づくりを推進するため、公民館13館及び豊沢ふれあい会館のコミュニティセンターへの移行に向け、説明会を行うなど準備を進めた。また、コミュニティセンターへの移行にあたって、袋井市コミュニティセンター条例や、袋井市地区まちづくり協議会条例を制定するなど、必要な体制を整備した。
- ◎ラグビーワールドカップを契機にまちの国際化を推進するため、国際交流に関心のある市民を「ハローフレンド」として募集し、2019年のラグビーワールドカップの際に実施する「ふくろい版ホームステイ」を見据え、ホームステイトライアルを実施したほか、国際交流員による幼稚園等への訪問や異文化理解出前講座などを行った。
- ◎多文化共生の推進については、市民の国際意識の醸成を図るため、交流イベントを実施したほか、袋井国際交流協会が行う外国語教室や友好・文化活動、各種交流事業を支援した。

【今後の展開方向】

- ◎市民と行政により協働まちづくりの推進にあつては、各地区のコミュニティセンターを拠点に、まちづくり協議会と連携し、高齢者支援や子育て支援、地域防災、にぎわいの創出などにおいて、特色ある地域づくり活動が充実するよう地域住民の参画と担い手の確保に努めていく。
- ◎多様な文化の創造にあつては、学びや体験、仲間づくり、社会参加などの生涯学習活動が効果的にまちづくりに生かされる仕組みづくりを検討するとともに、活動を支える地域のリーダーを育成していく。
- ◎多文化共生社会の確立にあつては、平成30年度に策定する「(仮)多文化共生推進計画」に基づき、文化や言語が異なる者がお互いを認め合い、ともに地域社会に参画するという従来の多文化共生の概念にとどまらず、本市の貴重な人材である外国人の多様性を活かした活力ある地域づくりに取り組んでいく。

平成 29 年度

取組別評価シートの見方

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策1	子どもがすこやかに育つまちを目指します	第2次総合計画の取組(27取組)とその目的、現状と課題を記載しています。
取組1	市民総参加で子育て環境の充実	
取組の目的	家庭、地域、企業、行政が連携・協力し、市民総参加で子供・子育てを応援します。	
現状と課題	◎共働き世帯の増加や女性の社会進出により、保育需要が高まっており、認可保育所を新設するなど定員を増加しているものの、待機児童ゼロの達成には至っていない。一方、幼稚園ニーズは、減少傾向が続いている。 ◎子ども・子育て関連3法による児童福祉法の改正により、放課後児童クラブの受入対象年齢が小学6年生まで拡大されたことから、専用施設(クラブ室)の整備を進めており、安定的な運営を進めるためには、指導員の確保が必要となる。	

1. 取組指標の実績値

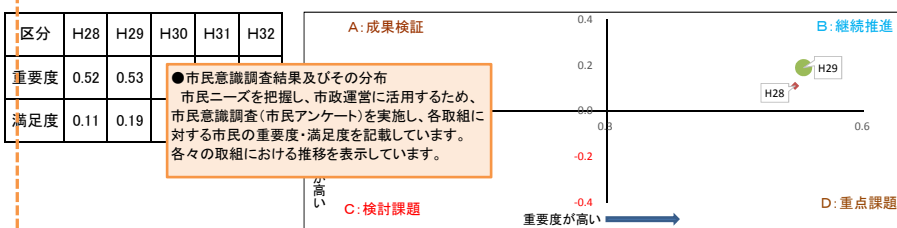
番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	保育所待機児童数 (各年とも次年4月1日現在) (人)	目標値	-	0	0	0	0	0.0%
		実績値	25	27	28	0	0	
2	放課後児童クラブの定員 (人)	目標値	-	915	995	1,065	1,145	100.0%
		実績値	805			1,167	1,247	
3	地域住民による子育て広場の 実施箇所数 (箇所)	目標値	-				4	100.0%
		実績値	1				0	
4	母親クラブ等子育て支援団体の 数 (団体)	目標値	-				10	62.5%
		実績値	6				0	
5	保育コンシェルジュの人数	目標値	-	2	2	2	3	100.0%
		実績値	1	2	2	0	2	
6	「男女共同参画社会づくり宣言」 宣言事業所数 (事業所)	目標値	-	38	55	60	70	89.1%
		実績値	41	49	49	0	0	
								70.8%
								75.3%

2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	保育所待機児童数(平成30年4月1日現在)(人)	28	6	46	0	0	-
2	「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所の数 (事業所)	49				14	-
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策1取組1 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	
基本方針(1)子どもを産み育てる環境の整備推進					
中央子育て支援センター運営事業	すこやか子ども課	32,935	39,861	維持	
ファミリーサポートセンター運営事業	すこやか子ども課	9,870	5,128	維持	
中央子育て支援センター一時預かり事業	すこやか子ども課	4,568	4,568	維持	
親子交流広場運営事業	すこやか子ども課	4,062	4,308	維持	
基本方針(2)子どもにとって良質な教育・保育の提供					
民間保育所運営費補助事業			1,482,438	維持	
地域型保育事業			192,500	維持	
(仮称)袋井南認定こども園施設			0	拡充	◎
基本方針(3)すべての子どもが安心して育つ環境の整備					
放課後児童クラブ運営事業			142,855	拡充	◎
放課後児童クラブ施設管理事業	すこやか子ども課	16,583	18,772	維持	
児童発達支援事業	育ちの森	13,356	16,640	維持	
子ども支援トータルサポート事業	育ちの森	7,594	7,968	維持	
基本方針(4)子育てと仕事の両立の支援					
男女共同参画プラン推進事業	協働まちづくり課	291	626	維持	
基本方針(5)子育て世帯の不安の解消					
児童扶養手当支給事業	しあわせ推進課	265,616	277,923	拡充	
子ども医療費助成事業	しあわせ推進課	39,406	370,791	拡充	
家庭児童相談室運営事業	しあわせ推進課	3,533	3,693	維持	
基本方針(6)子どもの安全の確保					
DV被害者宿泊施設借上事業	しあわせ推進課	13	48	維持	

5. 総合評価

評価の分析	◎市民意識調査における市民の重要度は高く、子育て支援に重点を置き、保育施設の増加や子育てアプリを活用した情報の発信、医療費の助成などに努めている本市の取組と一致している。 ◎公立認定こども園である「笠原こども園」や民間認可保育所、民間小規模保育施設の新設により、定員の拡大に努めてきたが、保育所申込者数の増加により、待機児童数は目標値に達しておらず、引き続き、待機児童の解消に向けた対策が必要である。 ◎放課後児童クラブは、受入対象学年の拡大に向け、施設整備を計画的に進め	H29の評価	C (一部に改善を要する)
Ⅱ. 29年度に取り組んだ内容	●総合評価 各取組を効率的・効果的に推進していくため、評価の分析を行うとともに、今後の展開方向を記載しています。 評価については、取組指標の達成率に加えて、社会動向や各事業の進捗状況、市民意識調査結果等を総合的に評価し、「順調」「概ね順調」「一部に改善を要する」「改善を要する」の四段階で評価します。		
Ⅲ. 今後の展開方向	◎放課後児童クラブは、市内全学区で小学6年生までを受け入れる施設整備を平成30年度に進めることから、担い手となる指導員の確保を支援していく。 ◎子ども医療費助成制度は、対象年齢拡大に伴い市の負担が大きくなることから、引き続き、県へ補助金の拡大を働きかけていくほか、保護者に対して適切な受診呼びかけしていく。		

平成 29 年度

取組別評価シート

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策1	子どもがすこやかに育つまちを目指します
取組1	市民総参加で子育て環境の充実
取組の目的	家庭、地域、企業、行政が連携・協力し、市民総参加で子供・子育てを応援します。
現状と課題	◎共働き世帯の増加や女性の社会進出により、保育需要が高まっており、認可保育所を新設するなど定員を増加しているものの、待機児童ゼロの達成には至っていない。一方、幼稚園ニーズは、減少傾向が続いている。 ◎子ども・子育て関連3法による児童福祉法の改正により、放課後児童クラブの受入対象年齢が小学6年生まで拡大されたことから、専用施設(クラブ室)の整備を進めており、安定的な運営を進めるためには、指導員の確保が必要となる。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	保育所待機児童数(各年とも次年4月1日現在)(人)	目標値	-	0	0	0	0	0.0%
		実績値	25	27	28			
2	放課後児童クラブの定員(人)	目標値	-	915	995	1,065	1,145	100.0%
		実績値	805	835	1,101		1,247	
3	地域住民による子育て広場の実施箇所数(箇所)	目標値	-	2	2	3	4	100.0%
		実績値	1	2	2			
4	母親クラブ等子育て支援団体の数(団体)	目標値	-	8	8	9	10	62.5%
		実績値	6	6	5			
5	保育コンシェルジュの人数	目標値	-	2	2	3	3	100.0%
		実績値	1	2	2	2	2	
6	「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所数(事業所)	目標値	-	38	55	60	70	89.1%
		実績値	39	49	49			
								70.8%
								75.3%

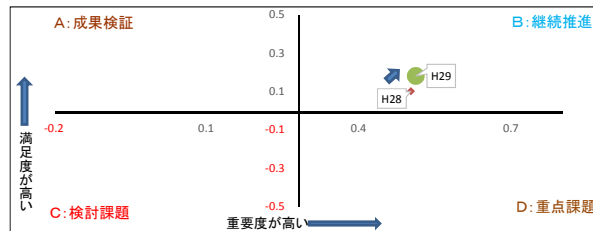
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	保育所待機児童数(平成30年4月1日現在)(人)	28	6	46	0	0	-
2	「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所数(事業所)	49	40	150	49	14	-
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策1取組1 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.52	0.53			
満足度	0.11	0.19			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)子どもを産み育てる環境の整備推進

中央子育て支援センター運営事業	すこやか子ども課	32,935	39,861	維持
ファミリーサポートセンター運営事業	すこやか子ども課	9,870	5,128	維持
中央子育て支援センター一時預かり事業	すこやか子ども課	4,568	4,568	維持
親子交流広場運営事業	すこやか子ども課	4,062	4,308	維持

基本方針(2)子どもにとって良質な教育・保育の提供

民間保育所運営費補助事業	すこやか子ども課	1,338,386	1,482,438	維持
地域型保育事業	すこやか子ども課	164,204	192,491	維持
(仮称)袋井南認定こども園施設整備事業	すこやか子ども課	0	0	拡充 ◎

基本方針(3)すべての子どもの育ちを支える環境の整備

放課後児童クラブ運営事業	すこやか子ども課	125,076	142,855	拡充 ◎
放課後児童クラブ施設管理事業	すこやか子ども課	16,583	18,772	維持
児童発達支援事業	育ちの森	13,356	16,640	維持
子ども支援トータルサポート事業	育ちの森	7,594	7,968	維持

基本方針(4)子育てと仕事の両立の支援

男女共同参画プラン推進事業	協働まちづくり課	291	626	維持

基本方針(5)子育て世帯の不安の解消

児童扶養手当支給事業	しあわせ推進課	265,615	277,923	拡充
子ども医療費助成事業	しあわせ推進課	390,405	388,364	拡充
家庭児童相談室運営事業	しあわせ推進課	3,533	3,693	維持

基本方針(6)子どもの安全の確保

DV被害者宿泊施設借上事業	しあわせ推進課	13	48	維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎市民意識調査における市民の重要度は高く、子育て支援に重点を置き、保育施設の増加や子育てアプリを活用した情報の発信、医療費の助成などに努めている本市の取組と一致している。 ◎公立認定こども園である「笠原こども園」や民間認可保育所、民間小規模保育施設の新設により、定員の拡大に努めてきたが、保育所申込者数の増加により、待機児童数は目標値に達しておらず、引き続き、待機児童の解消に向けた対策が必要である。 ◎放課後児童クラブは、受入対象学年の拡大に向け、施設整備を計画的に進めている。	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎保育所と幼稚園のニーズ不均衡や施設の老朽化などの本市の課題に対応するため、概ね10年後を見据えた「就学前の子どもの教育・保育のあり方に関する基本方針」を定めた。 ◎幼稚園の保育時間における保護者ニーズに応えるため、公立幼稚園2園で預かり保育の時間帯を朝夕それぞれ1時間延長した。 ◎放課後児童クラブの受入対象学年の拡大に対応するため、袋井東・袋井西小学校区への施設整備に向け、用地取得や実施設計を行った。		
III. 今後の展開方向	◎民間保育施設への設置支援や(仮称)袋井南認定こども園の整備に加え、企業主導型による保育施設の設置を働きかけ、待機児童の解消を図っていく。 ◎放課後児童クラブは、市内全小学校区で小学6年生までを受け入れる施設整備を平成30年度に進めることから、担い手となる指導員の確保を支援していく。 ◎子ども医療費助成制度は、対象年齢拡大に伴い市の負担が大きくなることから、引き続き、県へ補助の拡大を働きかけていほか、保護者に対して適切な受診を呼びかけていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策1	子どもがすやかに育つまちを目指します
取組2	未来に輝く若者の育成
取組の目的	国際社会や地域社会で活躍する、心ゆたかでたくましい若者を育てます。
現状と課題	<p>◎次代を担う子どもたちがこれからは生き抜くためには、幅広い知識と柔軟な思考力に基づいて主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造するための基礎的な力が求められており、幼小中一貫教育を推進し、英語教育やICT教育を充実していく必要がある。</p> <p>◎学校施設は、高度経済成長期に建築された建物が多く、老朽化している施設も多い。安全・安心な状態を維持するため、計画的な修繕と長寿命化に向けた対策が必要である。また、袋井・浅羽の両給食センターは設備が老朽化しており、学校給食を安定的に提供するためには、機器更新が必要となっている。</p>

1. 取組指標の実績値

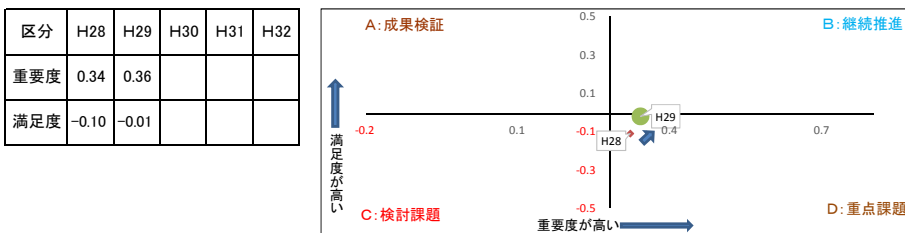
番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	「将来の夢や目標を持っている」と答える児童・生徒の割合(小6・中3)(%)	目標値	—	83.5	85.0	86.5	90.0	90.9%
		実績値	79.5	81.2	77.3			
2	全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合(小6・中3)(%)	目標値	—	75.0	87.5	87.5	100.0	14.3%
		実績値	10.0	100.0	12.5			
3	新体力テストで全国平均を上回る種目の割合(小5・中2)(%)	目標値	—	82.0	84.0	86.0	90.0	48.3%
		実績値	56.3	46.9	40.6			
4	教育施設大規模改修等の実施(施設数)(箇所)	目標値	—	2	2	3	3	100.0%
		実績値	1	2	2			
5	学校給食における市内産野菜の使用率(重量ベース)(%)	目標値	—	33.5	37.0	40.0	40.0	75.4%
		実績値	26.2	27.6	27.9			
		目標値	—	—				
		実績値						
								88.6%
								65.8%

2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策1取組2 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	
基本方針(1)ゆたかな心を育む教育の推進					
英語力向上事業(小学校・中学校)	学校教育課	34,774	42,420	拡充	◎
グローバルコミュニケーション力向上事業	学校教育課	1,694	2,126	維持	
国際理解教育推進事業	学校教育課	14	0	縮小	

基本方針(2)確かな学力を育む教育の推進

学力向上対策事業(小学校・中学校)	学校教育課	5,673	5,761	維持	◎
幼小中一貫教育推進事業	教育企画係	276	428	維持	

基本方針(3)健やかでたくましい体を育む教育の推進

健康診断事業(小学校・中学校)	学校教育課	11,549	8,261	維持	
食育推進事業	健康づくり課	3,309	3,012	維持	
学校給食センター整備事業	おいしい給食課			拡充	

基本方針(4)子ども一人ひとりを大切に支援の充実

特別支援教育推進事業(小学校・中学校)	学校教育課	47,304	49,759	維持	
いじめ・不登校等未然防止事業(小学校・中学校)	学校教育課	10,707	6,404	拡充	
子ども支援トータルサポート事業	育ちの森	7,594	7,968	維持	

基本方針(5)地域とともにある学校づくりの推進

地域とともにある学校づくり推進事業(小学校・中学校)	学校教育課	5,400	4,800	維持	
学校支援地域本部事業	学校教育課	946	1,470	維持	

基本方針(6)質の高い教育環境の整備

袋井北小学校校舎増築事業	教育企画課	335,562	5,703	維持	
(仮称)袋井南認定こども園施設整備事業【再掲1-1-(2)】	すこやか子ども課	0	0	拡充	
学校施設機能向上事業	教育企画課	0	57,005	拡充	◎
浅羽中学校施設整備事業	教育企画課	0	27,223	維持	

5. 総合評価

I. 評価の分析	<p>◎幼小中一貫教育の方針を定め、推進に向けた準備を進めるとともに、英語教育やICTを活用した教育を行ってきたことに対して、市民の重要度・満足度は増している。</p> <p>◎全国学力・学習状況調査の結果は、全国平均と大きな差はないものの、多くの科目で全国平均を下回る結果となったため、今回の結果を分析した上で対応が必要である。</p> <p>◎新体力テストの結果は、平成29年度は約40%と全国平均を下回る種目が多く、目標値との乖離が大きくなっており、体力向上の取組が必要である。</p>	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	<p>◎学力向上に向けて、教員を対象とした研修会や若手教員への指導助言など、授業改善に取り組んだ。また、「わが校の授業『カイゼン』宣言」を定め、課題の把握と解決に向け、PDCAによる授業改善の取組を実施した。</p> <p>◎平成32年度からの幼小中一貫教育の実施に向け、子ども自身が中学卒業後の自分像を描けるよう「幼小中一貫キャリア教育カリキュラム」の作成に着手した。</p>		
III. 今後の展開方向	<p>◎幼児期の教育・保育から小中学校までの教育の連携を強化する幼小中一貫教育を推進し、子どもの基礎学力はもとより、英語力、ICTを活用する力の向上に取り組んでいく。</p> <p>◎体力向上では、学校全体の取組として、計画的に体力づくりに取り組む。</p> <p>◎教育施設の老朽化対策では、浅羽中学校の施設整備を進めるとともに、計画的な長寿命化対策を実施していく。</p> <p>◎学校給食を安定的に提供するため、袋井・浅羽学校給食センターにおいては老朽化している機器を計画的に更新していくほか、市内産野菜の使用率について適切な目標値を設定する。</p>		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策1	子どもがすこやかに育つまちを目指します
取組3	教養ゆたかな人づくり
取組の目的	人や社会に貢献する人づくりを推進するとともに、市民の主体的な生涯学習活動を支援します。
現状と課題	◎生涯学習や文化・芸術の振興は、個人の成長を促すだけでなく、まちづくりの観点からも有効である。生きがいづくりや楽しく学ぶ学習活動への参加を通じて、人や社会とのつながりを深め、学んだ成果を地域など活かしていくことで、地域社会全体の活性化や発展につなげていくことが必要である。 ◎次世代を担う青少年が、自ら進んで社会参加できるよう、家庭、学校、地域が連携し、社会全体で青少年の健全育成を推進する環境づくりが求められている。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	徳育推進協働事業への参加者数(人)	目標値	—	800	4,000	4,000	4,000	32.9%
		実績値	885	3,733	1,316			
2	公民館の利用者数(人)	目標値	—	360,000	365,000			96.4%
		実績値	341,191	341,312	351,779			
3	月見の里学遊館(水玉プール除く)とメロープラザの利用者数(人)	目標値	—	180,000	185,000	190,000	200,000	91.2%
		実績値	170,141	155,186	168,758			
4	図書館の資料貸出点数(点)	目標値	—	560,000	570,000	575,000	592,000	91.7%
		実績値	534,149	528,412	522,564			
5	図書館の個人貸出利用者数(人)	目標値	—	131,000	135,000	140,000	150,000	98.2%
		実績値	128,728	130,201	132,514			
		目標値	—	—				
		実績値						
								95.0%
								82.1%

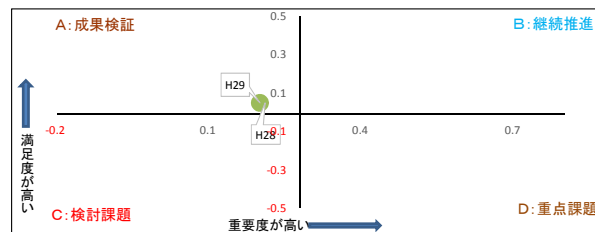
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	図書館の資料貸出点数(人口1,000人当たり)(点)「平成29年度静岡県図書館」(H29実績)	5,942	6,828	7,319	6,609	4,949	5,701
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策1取組3 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.23	0.22			
満足度	0.06	0.06			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1) 徳育の推進

事業名	生涯学習課	10,115	8,199	維持
社会教育振興事業	生涯学習課	10,115	8,199	維持
青少年育成事業	生涯学習課	1,068	3,012	維持
徳育推進事業	生涯学習課	157	266	維持

基本方針(2) 生涯学習活動の充実

事業名	生涯学習課	10,115	8,199	維持
社会教育振興事業【再掲1-3-(1)】	生涯学習課	10,115	8,199	維持
大学を活かしたまちづくり事業	生涯学習課	3,475	3,794	維持 ◎
グローバルコミュニケーション力向上事業	生涯学習課	1,822	1,400	皆減
市民のITリテラシー向上推進事業	生涯学習課	500	500	皆減

基本方針(3) 社会全体が連携した青少年健全育成の推進

事業名	生涯学習課	1,270	313	維持
少年補導センター運営事業	生涯学習課	1,270	313	維持
青少年育成事業【再掲1-3-(1)】	生涯学習課	1,068	3,012	維持 ◎

基本方針(4) 図書館機能の充実と読書活動の推進

事業名	生涯学習課	25,363	23,515	維持
図書館蔵書充実事業	生涯学習課	25,363	23,515	維持
図書館運営事業	生涯学習課	15,524	23,868	維持
ブックスタート事業	生涯学習課	1,841	1,842	維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎多くの市民、市民団体等と連携し、徳育推進のための講演や講座を開催したほか、指標には反映されない取組として、市内公立保育所、幼稚園、小学校、中学校、公民館において、徳育推進運動に関する目標を立て、徳育の推進を行った。 ◎図書館の資料貸出点数については、電子書籍が普及している影響により、紙図書の読書機会が減少していると推察する。ブックスタート事業など乳幼児期から本にふれあう機会を創出したことで児童向け図書の貸出は増加した。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎ラグビーワールドカップ2019に向け、市民の英語力向上を目的に、親子向けやトラベル英会話など、日常生活に根ざした英会話教室を公民館で開催した。 ◎静岡理科大学と連携し、一般市民を対象とした公開講座やIT関連授業を実施し、市民のITリテラシーの向上や社会教育の充実に取り組んだ。		
III. 今後の展開方向	◎市民が主体的に生涯学習活動や地域活動に参加できるよう、各コミュニティセンターで行われる学級活動や青少年健全育成事業に加えて、これからの地域の未来を担う若手の人材育成に取り組む。 ◎グローバルコミュニケーション事業は、各コミュニティセンターで実施している社会教育事業において取り組んでいく。市民のITリテラシー向上推進事業は、静岡理科大学との連携による大学を活かしたまちづくり事業において、引き続き取り組んでいく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策2	健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します
取組1	生涯しあわせに暮らす健康づくりの推進
取組の目的	生涯にわたり健康で幸せに暮らせるように、それぞれの生活や年代にあわせた健康づくりを推進します。
現状と課題	<p>◎本市における生活習慣病の特徴である「糖尿病が強く疑われる人」は、特定健診のデータから、男女とも50歳代から県平均を上回っているという現状がある。</p> <p>◎生涯にわたり健康に生活するためには、筋力の低下が心配される年代からの健康づくりだけでなく、若い時から健康づくりに取り組むことが重要であり、企業や事業所と連携した中で、若い世代からの健康づくりを促進する必要がある。</p>

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	市国保特定健診で糖尿病が強く疑われる人の割合(ヘモグロビンA1cの値が6.5%以上の人)(%)	目標値	—	8.7	8.4	8.1	7.5	73.8%
		実績値	9.7 (H26)	10.3 (H27)	10.6 (H28)			
2	市国保特定健診で内臓脂肪症候群該当者及び予備群者の割合(%)	目標値	—	30.7	29.3	27.9	25.1	90.2%
		実績値	31.4 上段:男 下段:女	31.8 13.5	34.1 13.4			
3	総合健康センター(聖隷袋井市民病院と休日急患診療室を含む)の延べ利用者数(人)	目標値	—	110,000	112,000	115,000	120,000	99.0%
		実績値	84,864	107,741	110,864			
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
92.0%								86.6%

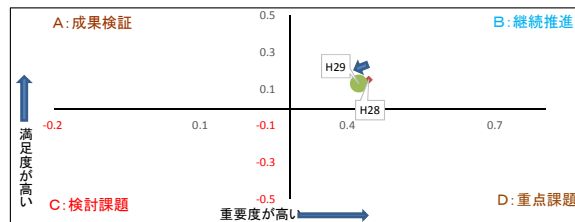
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	市国保特定健診受診率(%) 厚生労働省・県健康福祉部国民健康保険課「平成28年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況速報値」	52.3	45.8	36.1	49.2	45.0	37.6

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.46	0.44			
満足度	0.16	0.14			

政策2取組1 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)地域における健康づくりの推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
出前健康教室開催事業	健康づくり課	1,131	1,132	維持
地域健康意識向上事業	健康づくり課	391	6,155	維持
健康運動サポーター活動推進事業	健康づくり課	286	301	維持

基本方針(2)各年代における健康づくりの推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
介護予防事業(出前講座)	健康づくり課	2,675	2,914	維持
子ども健康教育支援事業	健康づくり課	732	976	維持
介護予防プログラム普及事業	健康づくり課	450	879	維持
認知症予防教室事業	健康づくり課	260	142	維持

基本方針(3)生活習慣病の発症予防と重症化予防

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
各種がん検診事業	健康づくり課	91,744	94,236	維持
後期高齢者健康診査事業	市民課	5,562	7,862	維持
生活習慣病予防事業	健康づくり課	1,303	860	維持
後期高齢者人間ドック助成事業	市民課	1,140	1,300	維持

基本方針(4)栄養・運動など生活習慣の改善

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
フットー健康ポイント事業(健康マイレージ)	健康づくり課	12,591	5,199	拡充 ◎
食育推進事業	健康づくり課	3,309	3,012	維持
子ども健康教育支援事業【再掲2-1-(2)】	健康づくり課	732	976	維持
健康塾開催事業	健康づくり課	349	302	維持

基本方針(5)心の健康づくりの推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
虐待予防事業	健康づくり課	217	652	維持
自殺予防対策事業	健康づくり課	132	1,208	維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎糖尿病や内臓脂肪症候群等の該当者割合は、増加傾向にあり、保健師や管理栄養士による個別面談を行うなど対策を強化している。引き続き、対象者に対しては個別指導を行うとともに、若い世代にも広く普及啓発するなどの対策が必要がある。 ◎聖隷袋井市民病院では、看護師、理学療法士、作業療法士等の医療従事者を確保し、新たに回復期リハビリテーション病床50床を開設するなど、医療環境を充実させたことで、利用者も増加している。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎国保特定健診による糖尿病の疑いや内臓脂肪症候群などの結果から、保健指導が必要と判断する方に対して、個別面談を行った。 ◎スマートフォンなどで歩数を手軽に管理できる新たな健康ポイントサービス「#2961ウオーク」を開発した。 ◎聖隷袋井市民病院では、医療スタッフを確保するとともに、回復期リハビリテーション病床やMRI機器を導入し、医療の充実を図った。		
III. 今後の展開方向	◎国保特定健診の受診結果から、保健指導が必要と判断される方に対して、個別指導を強化するとともに、地域と連携しながら、市民への普及啓発を行っていく。 ◎新たにサービスを開始した「#2961ウオーク」について、企業等における健康経営の促進に加え、より多くの方に利用されるよう普及に努めていく。 ◎聖隷袋井市民病院では、中東遠総合医療センターや市内の開業医、近隣の医療機関とも連携を深め、医療スタッフを充実し、医療の質を一層高めていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策2	健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します
取組2	いきいきと暮らせる健康長寿の推進
取組の目的	すべての高齢者が尊重され、住み慣れた地域で、健やかに自分らしく暮らせる長寿社会を目指します。
現状と課題	<p>◎高齢化の進行に伴い、今後もひとり暮らし高齢者や要介護認定者数、認知症患者数がさらに増加していく事が予想される。特に、団塊の世代が後期高齢者に到達する2025年を見据え、引き続き「地域包括ケアシステム」を推進していく必要がある。</p> <p>◎高齢者が健康でいきいきと暮らすためには、健康なときから介護予防に取り組む必要がある。地域においては介護予防の取組が広がっているが、今後、地域間で格差が生じないよう対応していくことが求められる。</p>

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	要介護(要支援)認定者の割合(65歳以上)(%)	目標値	-	16.2	16.4	16.8 15.5	17.8 15.5	100.0%
		実績値	15.4	15.2	15.1			
2	介護予防教室・講座参加者数(人)	目標値	-	15,700	16,100	16,800	18,000	95.7%
		実績値	13,890	16,012	15,413			
3	介護支援ボランティア登録人数(人)	目標値	-	290	310	320 270	330	71.9%
		実績値	244	241	223			
4	認知症サポーターの人数(人)	目標値	-	1,200	1,300	1,300 1,600	1,300 2,000	63.3%
		実績値	1,099	1,135	823			
5	要介護(要支援)認定者のうち在宅サービス及び地域密着型サービス(小規模多機能型居宅介護)利用者の割合(%)	目標値	-	57.4	57.5	57.6 57.0	57.8 57.0	100.0%
		実績値	60.9	62.3	58.0			
		目標値	-					
		実績値						
								95.5%
								86.2%

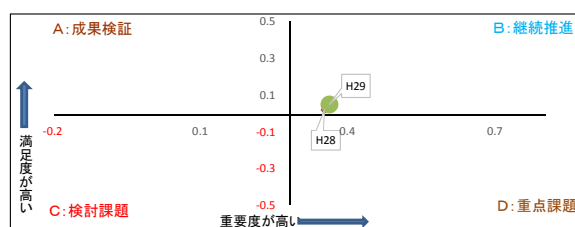
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	要介護(要支援)認定率(%)県「平成27年度介護保険事業状況報告年報」	15.9	15.3	16.3	15.4	13.5	15.9
2	ひとり暮らし高齢者率(%)県「高齢者福祉行政の基礎調査(H28.4.1現在)」	12.8	13.2	12.2	17.0	6.1	18.6
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.37	0.38			
満足度	0.03	0.06			

政策2取組2 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)健康と生きがいづくりの推進

介護予防教室事業(楽笑教室)	健康づくり課	17,500	18,227	維持
介護予防事業(出前講座)	健康づくり課	2,675	2,914	維持
介護予防教室(筋トレマシン教室)	健康づくり課	1,266	1,375	維持
長寿祝い事業	しあわせ推進課	484	778	維持

基本方針(2)地域包括ケアの充実

配食サービス事業	地域包括ケア推進課	8,699	10,239	維持
認知症総合支援事業	地域包括ケア推進課	8,470	8,890	継続 ◎
ひとり暮らし高齢者支援事業	地域包括ケア推進課	1,682	2,277	維持
在宅医療・介護連携推進事業	地域包括ケア推進課	465	2,550	維持

基本方針(3)住みやすいまちづくりの推進

交通安全対策推進事業	協働まちづくり課	7,860	7,940	維持
防犯対策推進事業	協働まちづくり課	1,906	855	維持
総合相談事業	地域包括ケア推進課	1,303	624	維持

基本方針(4)支え合う仕組みの構築

生活支援体制整備事業【再掲2-2-(2)】	地域包括ケア推進課	8,314	18,072	維持
介護支援ボランティア事業	地域包括ケア推進課	549	1,202	維持
お元気サポーター養成講座	地域包括ケア推進課	279	491	維持

基本方針(5)介護保険事業の円滑な実施

介護予防・生活支援サービス費	地域包括ケア推進課	64,370	173,237	維持
----------------	-----------	--------	---------	----

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎各地域で様々な健康教室や介護予防の取組が広がっており、「要介護(要支援)認定者の割合(65歳以上)」は年々減少し、元気なお年寄りが増えている。 ◎地域の中でより多くの方が参加し充実した健康教室や介護予防などが取り組まれるよう、介護ボランティアや認知症サポーターを確保していく必要がある。	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎各種運動教室や認知症予防教室、介護予防出前健康教室を実施したほか、シニアクラブやいきいきサロン等の活動サークルが自立・定着するよう支援を行った。 ◎在宅医療・介護連携シンポジウムと兼ねた認知症サポーター養成講座を開催した。また、東海アクシズ看護専門学校生を対象に講座を開催したことで、若い世代のサポーターを確保した。		
III. 今後の展開方向	◎長寿しあわせ計画(H30~H32)に基づき、新たに設定した30年度以降の目標値を達成するため、引き続き、介護支援ボランティアの登録者を募っていくとともに、登録者のフォローアップやボランティア同士の交流を深める取組など、ボランティア活動を促進していく。また、認知症サポーターは、多職種・多世代に養成講座の受講を促していくほか、定期的なスキルアップ研修を行うことで、活動を担う人材の確保と育成に努めていく。 ◎今後、高齢化が一層進んでいく中で、元気な高齢者も「支える側」として、地域全体で認知症患者や介護者等を支える基盤をより強固にしていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策2	健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します
取組3	安心できる地域医療の充実
取組の目的	保健・予防から医療、介護、福祉へと切れ目のない連携体制の構築を目指します。
現状と課題	◎医師の不足と偏在が進む中、医療機関においては機能の分化と連携の強化により、地域医療体制を充実していく一方、医療機関への適正な受診を促すなど、医療を充実しつつ医療費を抑制することが求められている。 ◎中東遠総合医療センターにおいては、圏域の基幹病院としての役割を果たすと同時に、効率的な運営と健全な経営の推進が求められており、聖隷袋井市民病院では、休日急患診療において医師が不足し、外部医療機関から医師派遣の支援を受けている状況である。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	お達者度(男性)(年)	目標値	—	17.56	17.60	17.65	17.74	100.0%
		実績値	17.44(H25)	17.46(H26)	17.66(H27)			
2	お達者度(女性)(年)	目標値	—	21.08	21.11	21.14	21.20	99.6%
		実績値	20.86(H25)	20.77(H26)	21.02(H27)			
3	中東遠総合医療センターの患者満足度(入院)(%)	目標値	—	88.0	88.5	89.0	90.0	97.6%
		実績値	83.7	88.7	86.4			
4	中東遠総合医療センターの患者満足度(外来)(%)	目標値	—	67.5	70.7	73.8	80.0	86.2%
		実績値	59.3	60.5	60.9			
5	総合健康センターでの総合相談件数(件)	目標値	—	2,600	2,700	2,800	3,000	100.0%
		実績値	2,080	2,495	2,828			
		目標値						
		実績値						
								96.7%

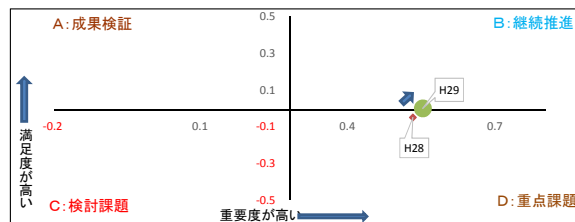
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	お達者度(男性)(平成27年実績)(県発表)	17.66	18.91	18.58	18.74	19.16	18.11
2	お達者度(女性)(平成27年実績)(県発表)	21.01	21.64	21.34	20.97	21.47	21.25
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策2取組3 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.55	0.57			
満足度	-0.04	0.01			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	
基本方針(1)切れ目のない地域医療体制の確保					
中東遠総合医療センター運営負担金	地域包括ケア推進課	705,492	701,778	維持	
袋井市病院事業運営費補助金	地域包括ケア推進課	338,196	350,198	維持	
看護専門学校管理費	東海アセス看護専門学校総務課	18,869	52,727	維持	

基本方針(2)救急医療体制の確保

中東遠総合医療センター運営負担金【再掲2-3-(1)】	地域包括ケア推進課	705,492	701,778	維持	
一次救急医療事業	地域包括ケア推進課	41,074	43,353	維持	

基本方針(3)医療と介護の連携強化

総合健康センター施設管理運営費	地域包括ケア推進課	6,340	238,356	縮小	
-----------------	-----------	-------	---------	----	--

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎市民意識調査の結果では、今後、本市でも高齢化が更に進んでいくと見込まれる中、市民が重要度が高いと捉える分野である。 ◎県が公表するお達者度は、男女とも、概ね近隣市や県平均を下回っているものの、高齢化率やひとり暮らし高齢者の割合などは県内でも低い。 ◎中東遠総合医療センターの患者満足度は、各病棟での専門職による退院支援担当者の配置や会計手続の改善などを進めているが、目標達成に向けては更なる取組が必要である。 ◎市役所内関係部署や関係機関との連携強化により総合健康センターでの総合相談件数は増加しており、相談体制の充実に図られている。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎中東遠総合医療センターでは、各病棟において看護師などの専門職を退院支援担当者として配置するとともに、待ち時間を短縮するため会計手続を改善した。 ◎中東遠総合医療センターでは、新公立病院改革プランを策定し良好な病院運営に努めるとともに、「地域医療支援病院」の承認を受け、地域の医療機関と連携・協力し医療の質とサービスの向上、救急医療の実施など、信頼される病院として地域医療に貢献した。 ◎関係部署や関係機関の職員を対象に研修会を開催したほか、民生委員や介護保険事業所などの連携強化に努めた。		
III. 今後の展開方向	◎お達者度の向上、自立支援を図るため、引き続き「運動」・「食生活」・「社会参加」分野の事業を推進する。 ◎中東遠総合医療センター及び聖隷袋井市民病院では、「新公立病院改革プラン」に基づき、医療の質の向上と業務の効率化に取り組んでいく。 ◎地域包括ケアシステム構築に向けた取組として、袋井市在宅医療多職種連携推進会議にて協議を進め、総合健康センター事業の充実に図っていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策2	健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します
取組5	親しみやすい市民スポーツの推進
取組の目的	市民が明るく健康でいきいきとした生活を送れるように、気軽に親しめるスポーツ文化の推進に取り組みます。

現状と課題	◎市民の健康に対する意識の高まりとともに、スポーツに取り組む市民が増加している。市では、2018年(平成30年度)全国高等学校総合体育大会弓道競技大会、2019年(平成31年度)ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックの3大会を「袋井スポーツドリーム」と位置づけ、スポーツの振興に取り組んでいる。 ◎生涯に渡って気軽に健康づくりやスポーツが行えるよう、新たに総合体育館を整備するとともに、本市の運動施設は老朽化が進んでいることから、既存施設については、計画的に改修を進めていく必要がある。
-------	--

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	スポーツ指導者派遣回数(回)	目標値	—	180	185	185	200	75.7%
		実績値	151	131	140			
2	スポーツ指導者育成事業助成金の交付件数(件)	目標値	—	21	22	23	25	0.0%
		実績値	3	1	0			
3	全国スポーツ大会の出場者数(激励金交付件数)	目標値	—	70	75	80	90	77.3%
		実績値	61	62	58			
4	市内の運動施設の利用者数(エコバを除く)(人)	目標値	—	695,000	700,000	705,000	750,000	100.0%
		実績値	672,956	732,308	706,393			
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
								66.6%
								63.3%

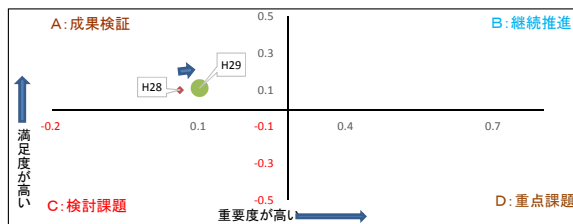
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.08	0.12			
満足度	0.11	0.12			

政策2取組5 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)子どものスポーツ機会の充実と体力向上

各種スポーツ教室・大会開催事業	スポーツ推進課	3,452	2,976	維持
エアロビック普及事業	スポーツ推進課	571	757	維持

基本方針(2)ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

スポーツドリーム推進事業	スポーツ推進課	8,207	12,534	維持	◎
スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進課	2,283	3,196	維持	
エアロビック普及事業	スポーツ推進課	571	757	維持	

基本方針(3)誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の整備

総合体育館整備事業	スポーツ推進課	863,094	1,745,617	拡充	◎
学校運動施設運営事業	スポーツ推進課	1,641	1,641	維持	

基本方針(4)アスリートを育てる競技スポーツの推進

袋井市スポーツ協会運営補助事業	スポーツ推進課	7,760	7,760	拡充
静岡県市町対抗駅伝競走大会事業	スポーツ推進課	2,271	2,271	維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎現在、ラグビーワールドカップ等スポーツドリームを推進しており、市民の重要度は高まっている。 ◎スポーツ指導者育成事業助成金の交付件数は、指導者の高齢化や新たな指導者の確保が困難な状況から0件であったため、引き続き、指導者確保に向けた取組を進める必要がある。 ◎全国スポーツ大会の出場者増加に向け、競技全体のレベル向上を図るため、幼児期から体力向上に取り組む必要がある。 ◎運動施設の利用者数は昨年度より減少しているが、天候不良による利用日数の減などによるものであり、利用者は増加傾向にある。	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎PFI事業により進めている総合体育館整備は、設計業務が完了した。 ◎市内小中学校や幼稚園、公民館などにスポーツ指導者とエアロビック指導者の派遣を呼びかけるとともに、学校や地区の運動会でのエアロビック取り入れを依頼した。 ◎市ホームページや広報ふくろいなどにより、スポーツ指導者育成事業助成金の交付や、全国スポーツ大会の出場に伴う激励金交付の周知を図った。		
III. 今後の展開方向	◎総合体育館の平成31年12月プレオープン、平成32年4月供用開始に向け、着実に整備を進めるとともに、関係団体等と連携し、より多くの方に利用される施設を目指していく。 ◎市内のコミュニティセンターや小中学校などへスポーツ指導者を派遣していくほか、市内企業に対しても健康増進のための運動指導とスポーツ指導者の派遣を行っている。 ◎ラグビーワールドカップの開催により、市民のスポーツに対する関心が高まっていることから、積極的にスポーツに参加することはもとより、スタッフや指導者などスポーツを支える人材の育成につなげるよう、市民のスポーツへの関わりを深めていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組1	暮らしが楽しくなる都市拠点の創出
取組の目的	誰もが安心して快適に暮らせる、いつまでも暮らしが楽しくなるまちづくりを推進します。
現状と課題	◎今後、高齢化の進展や人口減少などが見込まれ、既存市街地の空洞化や公共施設の老朽化などにより生活機能の低下が懸念される。 ◎平成30年3月に都市計画マスタープランを策定し、都市と自然環境との調和を図りつつ、人口減少・高齢社会を見据えた誰もが快適に暮らしていけるコンパクトな都市構造への転換を目指し、都市拠点・地域拠点を中心とした生活機能の集約と拠点間の連携を強化していく必要がある。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	市民がまちづくりに参加する地区数(地区計画など)(地区)	目標値	—	7	8	9	10	87.5%
		実績値		7	7	7		
2	地区計画などの実施面積(ha)	目標値	—	338	346	355	360	89.3%
		実績値		299	299	309		
3	土地区画整理実施区域内の未利用区画数(区画) ※実績値:上段は現在施行地区のみ 下段は市域全体	目標値	—	817	792	784	770	100.0%
		実績値		827(778)	783(683)	765(599)		
		目標値	—	—				
		実績値						
		目標値	—	—				
		実績値						
		目標値	—	—				
		実績値						
96.1%								92.3%

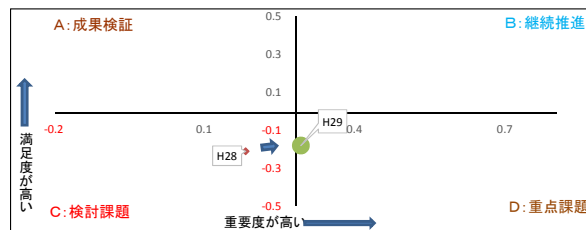
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策3取組1 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.20	0.31			
満足度	-0.20	-0.17			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)コンパクトに生活機能が集約した都市拠点の形成

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	重点化
袋井駅南地区まちづくり事業	都市計画課	512	9,000	拡充	◎

基本方針(2)安全で魅力ある市街地の形成及び再生

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	重点化
袋井駅南都市拠点土地区画整理事業	都市計画課	80,276	293,896	拡充	◎
袋井市上山梨第三土地区画整理事業	都市計画課	61,280	0	皆減	

基本方針(3)地域資源の保全と良質な景観形成の推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	重点化
景観形成推進事業	都市計画課	683	494	維持	
屋外広告物適正化事業	都市計画課	3	2,106	維持	

基本方針(4)総合的な住宅施策の推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	重点化
市営住宅施設整備事業	都市計画課	30,591	50,000	維持	

基本方針(5)まちづくりへの市民参加の推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	重点化
地域まちづくり支援事業	都市計画課	812	618	維持	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎市民意識調査の結果では、重要度・満足度ともに昨年度の数値より増加しており、市民の関心が高まっている取組である。 ◎市民がまちづくりに参加する地区数及び地区計画の実施面積については、川井西地区や袋井駅南地区において、現在地域住民との意見交換や検討を続けており、継続した支援を行っていく必要がある。 ◎土地区画整理実施区域内の未利用区画は、住宅メーカーによる複数区画でのセット販売などにより減少しており、効果的な利用が図られている。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎袋井駅南地区のまちづくり事業では、区画整理地区内の仮換地指定、メディカル地区における医療・高齢者・保育施設の誘致を行うとともに、商業地区における業務代行予定者の選定について支援を行った。 ◎川井西地区と駅南地区で住民説明会や関係機関との協議を行うなど、地区計画の決定に向けた支援を行った。 ◎市営住宅の長寿命化を進めるため、広岡団地B棟と再開発住宅駅前団地の屋上防水工事などを行った。		
III. 今後の展開方向	◎都市拠点の中心核であるJR袋井駅南地区に快適な住環境と利便性の高い商業・医療・福祉機能を集約することで、まち全体に活力とにぎわいを創出するため、土地区画整理事業・メディカル地区・商業地区の整備と、自歩道や公園整備などを含めた駅南まちづくり事業を計画的に進めていく。 ◎市民のまちづくりへの参加については、都市防災上危険な地域や地域内での合意形成など、個々の実情にあわせた課題検討や意見交換などの支援を行い、地域との協働によるまちづくりを推進する。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組2	誰もが移動しやすいまちづくり
取組の目的	日常生活の移動を円滑にするため道路整備を行い、利用しやすい公共交通と拠点ネットワークを構築します。
現状と課題	◎本市の交通移動手段は、約7割が自動車を含め、今後、一層高齢化が進むことを見据え、最適な公共交通を再構築することが求められる。 ◎道路や橋梁などのインフラについては、適切な維持管理と計画的な更新を行う必要があるが、今後においても厳しい財政が見込まれる中、選択と集中を徹底し、安全確保とコスト削減を図っていく必要がある。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	市営バス(自主運行バス・デマンドタクシー・地域協働運行バス)の利用者数(人)	目標値	—	38,000	38,400	38,450	38,550	95.6%
		実績値	39,160	38,071	36,709			
2	幹線道路の歩道整備率(%)	目標値	—	39.9	40.0	40.1	40.3	100.0%
		実績値	40.0	40.1	40.1			
3	協働による道路整備適用率(生活道路)(%)	目標値	—	82.5	85.0	87.5	92.5	100.0%
		実績値	80.0	85.0	85.0			
4	修繕実施橋梁数(橋)	目標値	—	19	22	25	29	100.0%
		実績値	19	21	22			
		目標値	—	—				
		実績値						
		目標値	—	—				
		実績値						
			100.0%					98.9%

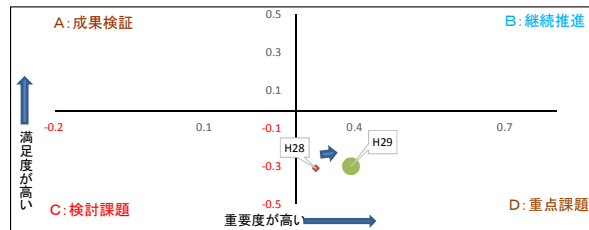
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策3取組2 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.34	0.41			
満足度	-0.30	-0.29			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1) 利用しやすい公共交通網の構築

自主運行バス運行事業	協働まちづくり課	51,813	53,801	維持	◎
生活バス路線確保対策事業	協働まちづくり課	50,367	63,000	維持	
天竜浜名湖鉄道運営支援事業	協働まちづくり課	493	582	維持	

基本方針(2) 安全で円滑な道路整備の推進

袋井市上山梨沿道整備土地地区画整理事業	都市整備課	173,848	218,000	縮小	
(都)山梨中央通り線新設事業	都市整備課	100,128	115,261	拡充	
(都)上久能山科線(第二工区)道路改築事業	都市整備課	63,643	0	皆減	
3級市道整備事業	建設課	54,934	43,000	維持	

基本方針(3) 協働によるみちづくりの推進

協働によるみちづくり事業	建設課	842	900	維持	
--------------	-----	-----	-----	----	--

基本方針(4) 道路の老朽化対策の実施

道路・橋りょう維持管理事業	建設課	202,215	179,787	維持	
橋りょう長寿命化修繕事業	建設課	53,674	103,560	拡充	◎
道路ストック総点検事業	建設課	44,000	55,000	維持	
道路舗装補修事業	建設課	28,806	58,644	拡充	◎

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎市民意識調査の結果では、重要度は高いものの、満足度が低い、重点課題に位置づけられる分野である。 ◎市営バスの利用者については、デマンドタクシーと地域協働運行バスの利用者は増加したものの、自主運行バスの利用者が減少したため全体数では、前年度比約1,400人が減少し、目標値を大きく下回った。 ◎幹線道路の歩道整備率・協働による道路整備適用率・修繕実施橋梁数はいずれも目標値を達成しており、新規の道路整備と既存施設の適切な保全を計画的に実施している。	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎デマンドタクシーについては、宇刈地区及び浅羽南地区において、料金や運行便数の見直しを図る中で、平成29年10月から本運行を開始した。 ◎中央北地域における地区幹線道路として、平成21年度から行ってきた都市計画道路上久能山科線の整備を完了し、交通渋滞を緩和するとともに、歩行者・自転車利用者の安全対策を行った。 ◎既存施設の維持管理について、老朽化している道路及び橋りょうの修繕を実施した。		
III. 今後の展開方向	◎自主運行バスやデマンドタクシーなど市営の公共交通については、民間事業者が提供するサービスを含め、公共交通全体を再構築したうえで、最適な利活用を推進していく。 ◎道路については、地元住民との合意形成が図られた路線を中心に整備を進めるとともに、既存施設は、国に対して修繕や長寿命化対策に必要な財源確保に向けた要望を続けるとともに、点検を徹底し、修繕箇所の優先順位を見直した上で、必要な修繕を計画的に行っていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組3	花と緑と水のまちづくり
取組の目的	地域の資源を活かした憩いの場の創出や、花と緑にあふれるまちづくりを推進します。

現状と課題	◎本市の都市公園の多くは、高度経済成長期に整備され、供用開始後30年以上が経過し、壊れたら直すといったこれまでの事後保全から、定期的に修繕を行う予防保全対策の必要性が求められている。 ◎公園の維持管理については、地域の愛護団体等により管理されている公園が多く、高齢化が進んでいるため活動の継続に影響が生じており、担い手確保が急務となっている。
-------	--

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	未利用地を活用した広場面積(m ²)	目標値	—	0	0	0	1,000	—
		実績値	0	0	0			
2	公園愛護団体数(団体)	目標値	—	81	82	83	85	100.0%
		実績値	81	82	84			
3	花工場の花苗配布数(ポット)	目標値	—	166,000	167,000	168,000	170,000	98.3%
		実績値	162,400	164,150	164,075			
4	花育に関わる講座・イベントの開催数(回)	目標値	—	8	10	13	20	100.0%
		実績値	7	9	10			
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
			99.6%					99.4%

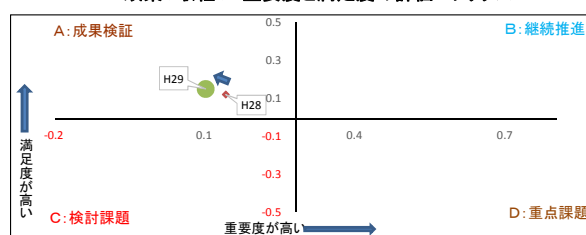
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	一人当たり都市公園等面積(市町公共施設状況)(m ²)県「平成28年度都市公園整備水準調査」	28.4	7.0	14.4	7.8	4.2	8.6
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.16	0.12			
満足度	0.13	0.16			

政策3取組3 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)身近な公園・広場の創出

みつかわ夢の丘公園整備事業	環境政策課	297,479	14,129	維持	
公園愛護活動事業	都市整備課	6,373	6,005	維持	
東海道どまん中袋井宿発信事業(メモリアル広場整備含む)	協働まちづくり課	561	597	拡充	◎

基本方針(2)花を通した市民の健康づくり・交流の促進

花壇維持管理事業	都市整備課	6,215	6,340	維持	
花工場運営事業	都市整備課	5,658	5,518	維持	

基本方針(3)歩いてみたくなる水辺空間の創出

花咲くふくろい推進事業	都市整備課	1,824	3,536	維持	
-------------	-------	-------	-------	----	--

基本方針(4)公共緑地の適切な管理と宅地内緑化の推進

公園芝生・樹木等管理委託事業	都市整備課	68,885	70,451	維持	
街路樹管理委託事業	都市整備課	61,979	68,676	維持	
公園維持管理事業	都市整備課	49,550	45,684	維持	
公園長寿命化事業	都市整備課	29,820	46,000	維持	◎

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎本市には、エコパがあり、一人あたりの都市公園等面積は28.4m ² と近隣市と比較しても充足しており、地域住民の交流の場や防災機能の役割を担っている。 ◎公園施設等の維持管理にあたって、地域の愛護団体など、担い手の確保に努めている。 ◎緑化推進に繋がる花工場の花苗配布は、目標値及び前年度実績を下回ったことから、配布先の検討が必要である。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎平成19年度から事業を進めた「みつかわ夢の丘公園」について、市営墓地機能を備えた都市公園として整備が完了した。 ◎既存の公園施設について、長寿命化計画に基づき、トイレや遊具などの公園施設の更新や修繕を行った。また、花育に関する講座・イベントを開催し、公園愛護の意識醸成に努めるとともに、新たな愛護団体を確保した。		
III. 今後の展開方向	◎供用開始後30年以上経過している公園施設については、定期点検を徹底した上で、長寿命化計画に沿い、必要な対策を計画的に行っていくとともに、植栽や遊具などの管理物について、維持管理の観点から適切な数量を検討していく。 ◎公園や街路樹に対する愛着と大切に扱う意識の醸成に努め、愛護活動に協力いただく団体や人数を増加していく。 ◎公園施設の利活用の促進に向け、ミズベリングの開催などNPOや市民団体等と連携した取組を行っていくほか、特化公園を検討していく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組4	恵みある河川・海岸づくり
取組の目的	人の生活に欠かせない水や多様な生物が生きる河川や海岸を大切に、河川愛護や海岸保全の活動を推進します。

現状と課題	◎浅羽海岸の整備について、平成40年(2028年)度の完成に向け、県の防災林造成事業と連携しながら防潮堤の整備を進めている。浅羽南部地域の周辺施設を含めて、地域住民に有効利用される施設とする必要がある。 ◎河川堤防について、草刈りなどの維持管理を自治会や部農会などに担っていただいているが、高齢化や人口減少の影響により継続実施が困難となっており、支援の充実と新たな担い手確保が必要となっている。
-------	--

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	浅羽海岸クリーン作戦参加者数(人)	目標値	—	1,400	1,400	1,400	1,500	71.4%
		実績値	900	1,000	1,000			
2	河川愛護活動参加者数(人)	目標値	—	25,500	26,000	26,500	27,500	86.5%
		実績値	23,641	23,416	22,496			
3	河川愛護(リバーフレンドシップ)の協定締結団体数(団体)	目標値	—	48	49	50	55	100.0%
		実績値	52	52	52			
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
								87.7%
								86.0%

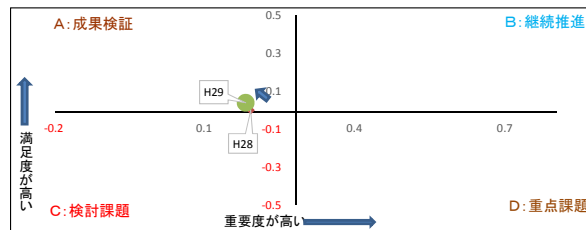
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策3取組4 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.21	0.20			
満足度	0.01	0.05			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)環境に配慮した河川・排水路の整備推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
河川・排水路維持管理事業	建設課	33,367	27,122	維持
新町・本町地内排水路改修事業	建設課	7,128	7,000	皆減
山田下谷の沢整備事業	建設課	3,795	4,200	維持

基本方針(2)河川愛護の推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
河川・海岸愛護事業	建設課	36,503	38,516	維持 ◎

基本方針(3)美しい海岸の創出

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
河川・海岸愛護事業【3-4-(2)再掲】	建設課	36,503	38,516	維持
松林保全管理事業(グリーンウェーブ活動)	農政課	11,371	3,493	維持
松食い虫等防除事業	農政課	764	2,145	維持
生活環境保全林ゴミ清掃事業(県有防災林)	農政課	135	120	維持

基本方針(4)海岸侵食対策の推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
福田漁港・浅羽海岸サンドバイパス推進事業	建設課	—	—	維持

基本方針(5)防潮堤整備と利活用の促進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
静岡モデル(袋井市)防潮堤整備事業	建設課	493,497	181,417	維持 ◎

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎浅羽海岸クリーン作戦参加者は、昨年度同様の参加であったが、目標値を大きく下回った。 ◎河川愛護活動参加者は、作業が危険な箇所もあるなど、高齢化とともに年々減少している。特に昨年度は前年比約900人減っており、引き続き自治会への働きかけを継続するとともに、より安全な河川愛護活動ができる対策と担い手確保を講ずる必要がある。 ◎防潮堤については、計画的にハード整備を進める一方、地域住民との対話により利活用を図る検討を行っている。	H29の評価 C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎豊沢工業団地からの開発発生土を活用して防潮堤を整備するとともに、完成後の利活用の実施計画策定に向けて4回の協議検討を行ったほか、植樹会を実施した。 ◎浅羽海岸周辺において、松くい虫被害防止・グリーンウェーブキャンペーン事業(育樹活動)、県有防災林のゴミ清掃など、地域団体とともに保全活動を行った。また、7月の海岸愛護月間にあわせ、地元自治会や浅羽中学校生徒を中心に、「海岸クリーン作戦」を実施した。 ◎地元自治会などの協力により、河川の草刈り等の河川愛護活動を実施した。	
III. 今後の展開方向	◎袋井幸浦の丘プロジェクトとして、防潮堤の完成に向け、引き続き整備を進めるとともに、今後の利活用を検討するため、地元住民を対象としたワークショップを行い、実施計画を作成していく。 ◎堤防の草刈りを含めた河川愛護活動について、参加者が減少している状況から、新たな担い手を確保するため、多くの市民が参加できる制度の創設に向けた検討を行っていく。	

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組5	豊かな環境の醸成と継承
取組の目的	市民・地域や企業等との協働により、環境にやさしい持続可能な社会の構築と多様性ある自然環境を保全します。
現状と課題	◎自然環境の保全と環境負荷の少ない資源循環型社会の構築が求められており、資源循環の理解と環境保全に対する意識の向上に努めた上で、省資源、省エネルギーを推進していく必要がある。 ◎下水道事業の経営基盤強化を図り、安定した持続可能な経営が必要である。併せて、稼働から20年が経過し、設備機器等の更新時期を迎えており、良好な運転保持のため計画的な更新及び修繕が必要である。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	1人1日あたりの可燃ごみの排出量 (g/日)	目標値	—	516	515	514	510	97.3%
		実績値	529	529	529			
2	再生可能エネルギー機器設置件数 (件)	目標値	—	7,983	8,883	9,783	10,000	92.7%
		実績値	6,903	7,602	8,237			
3	生ごみ処理機等設置費補助金交付件数 (台)	目標値	—	2,290	2,315	2,340	2,390	97.2%
		実績値	2,204	2,245	2,249			
4	環境教育(ごみの教室、アースキッズ事業、エコパを活用した環境教育)の実施件数 (件)	目標値	—	45	46	47	50	95.7%
		実績値	47	44	44			
5	汚水処理人口普及率 (%)	目標値	—	74.0	75.4	76.8	79.6	100.0%
		実績値	72.5	73.9	75.9			
6								96.6%
			97.7%			96.6%		

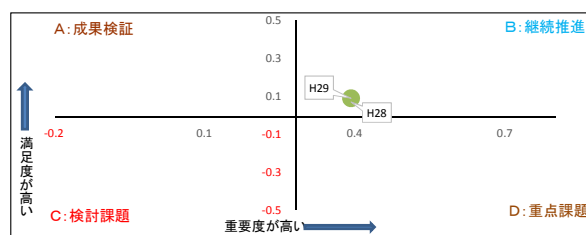
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	ごみ排出量(1人1日あたり)(g) 県「一般廃棄物処理事業のまとめ(平成28年度)」	872	749	641	675	825	886
2	汚水処理人口普及率(%) 県「静岡県の下水道道より(平成29年度)」	75.9	89.4	71.6	71.9	78.5	80.7
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.41	0.41			
満足度	0.08	0.10			

政策3取組5 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)資源循環型社会の推進

新エネルギー推進事業	環境政策課	16,933	18,742	維持
バイオマス活用推進事業	環境政策課	481	540	維持
環境基本計画推進事業	環境政策課	393	913	維持
省エネルギー推進事業	環境政策課	67	130	維持

基本方針(2)環境保全意識の高揚

環境教育推進事業	環境政策課	1,577	1,873	拡充

基本方針(3)地球環境の保全

新エネルギー推進事業【3-5-(1)再掲】	環境政策課	16,933	18,742	維持
バイオマス活用推進事業【3-5-(1)再掲】	環境政策課	481	540	維持
環境基本計画推進事業【3-5-(1)再掲】	環境政策課	393	913	維持
省エネルギー推進事業【3-5-(1)再掲】	環境政策課	67	130	維持

基本方針(4)郷土の豊かな水辺環境の保全

公共下水道事業(袋井処理区)	下水道課	503,266	677,018	維持	◎
公共下水道事業(浅羽処理区)	下水道課	133,653	215,396	維持	
合併処理浄化槽設置事業	下水道課	118,823	126,466	拡充	◎
公共下水道事業ストックマネジメント計画等策定業務	下水道課	19,900	7,000	皆減	
地方公営企業法適用移行業務	下水道課	8,057	19,008	維持	

基本方針(5)生活環境の保全・改善

美化運動推進事業	環境政策課	10,761	10,452	維持

基本方針(6)快適な環境の創造

不法投棄対策事業	環境政策課	506	642	維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎可燃ごみの排出量については、平成28年度ごみの分別方法を変更した影響もあり、ごみ削減に向けた啓発を行っているものの、排出量の減少には至っていない。 ◎再生可能エネルギー機器の設置は増加しているものの、固定買取価格の低下により設置の伸び率が低下し、目標値には到達していない。 ◎汚水処理人口普及率は、公共下水道の整備や供用開始区域内における接続率の向上、合併処理浄化槽への転換促進により、目標値を達成している。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎市民や事業所を対象にごみの減量に向けたPRや水切りの実演を行うとともに、省エネや新エネルギー機器の導入を促進するため、広報紙やホームページで補助制度の紹介を行った。 ◎小中学校等で出前ECO教室やアースキッズ事業など、44件の環境教育を実施した。 ◎計画的な公共下水道の整備を進め、供用開始区域内における接続率の向上を図るとともに、合併処理浄化槽への転換促進に取り組んだ。		
III. 今後の展開方向	◎平成30年度に策定する環境基本計画に基づき、古紙回収やグリーンリサイクル事業、生ごみリサイクルなど、ごみの減量に向けた様々な取組を進めていくとともに、太陽光やバイオマスなど省エネ・新エネルギーの促進を図っていく。 ◎地方公営企業法の適用や中長期的な経営の基本計画となる「経営戦略」を策定し、経営基盤の強化を図るとともに、「ストックマネジメント計画」を策定し、計画的な更新・修繕を行い、長期的かつ効率的で持続可能な下水道事業を進める。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組6	生活を快適にするICT環境の構築
取組の目的	市民生活や産業活動におけるICTの利用環境の充実を図るとともに、ICTにより市民サービスの向上を図ります。

現状と課題	◎人口減少により労働力不足が深刻化するなか、今後においても働き手の確保は全国的な課題と見込まれ、限られた労働力を有効に機能させるためには、様々な分野でICTを積極的に活用することが期待されている。 ◎ICTを活用できる人材の育成には多くの時間と経費が必要となることから、ICTに強みを持つ民間や大学等との連携を図り、効率的・効果的に行っていくことが重要となる。
-------	---

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	電子申請で届出・申請可能な手続きの種類(種類)	目標値	—	21	22	23	25	100.0%
		実績値	19	20	24			
2	オープンデータ公開件数(件)	目標値	—	100	500	600	800	100.0%
		実績値	23	443	533			
3	公共施設のWi-Fiスポット設置割合(%)	目標値	—	52.5	62.5	75.0	100.0	100.0%
		実績値	45.0	57.5	62.5			
		目標値						100.0%
		実績値						
		目標値						100.0%
		実績値						

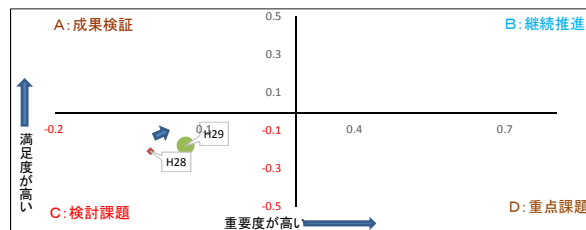
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策3取組6 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.01	0.08			
満足度	-0.20	-0.17			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)ICTを活かした先進性の高いまちづくりの推進

ICT街づくり推進事業	ICT街づくり課	5,458	2,919	拡充	◎

基本方針(2)新たな価値の創出と地域活性化につながるICTの活用

ICT街づくり推進事業(地方創生推進交付金事業)	ICT街づくり課	4,144	4,590	拡充	

基本方針(3)ICTを活用できる人材の育成

ICTを活かした先進教育推進事業(小学校・中学校)	学校教育課	7,235	10,057	拡充	◎
市民のITリテラシー向上推進事業【再掲1-3-(2)】	生涯学習課	500	500	皆減	

基本方針(4)ICTインフラの整備

ICT街づくり推進事業【再掲3-6-(1)】	ICT街づくり課	5,458	2,919	拡充	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎市民満足度調査において、重要度・満足度ともに昨年度の数値よりも高まっている。 ◎オープンデータの公開件数については、大きく増やした平成28年度より更に件数を増加させ、目標値を達成している。また、市のホームページと連動したオープンデータ専用サイトを開設し、利活用の推進を図っている。 ◎公共施設へのWi-Fi設備については、計画どおり整備が進んでいる。	H29の評価	A(順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎番号制度におけるマイナンバーカード子育てワンストップサービスの導入に伴い、児童手当の認定請求など4つの手続きについて、電子申請を利用したサービスを開始した。 ◎市のホームページと連動したオープンデータ専用サイトを開設し、データ掲載に係る職員負担を軽減しつつ、継続的にデータを公開できる仕組みを導入した。 ◎公共施設へのWi-Fi整備を進めたほか、民間施設への普及に向けて、商工会議所や商工会、観光協会との協議を進めた。		
III. 今後の展開方向	◎平成30年度に策定する、官民によるデータ活用の推進を盛り込んだ新たな「ICT推進計画」に基づき、事業を進めていく。 ◎マイナンバー制度の普及に向け、市民に対する理解を深めていくとともに、介護等の手続きについて電子申請を進めていく。 ◎オープンデータのコンテンツを充実していくに加え、より2次利用しやすいデータを公開するとともに、アプリなどへの積極的な活用を図っていく。 ◎ラグビーワールドカップを機に、訪日外国人が快適に市内で滞在できるよう、民間事業者などと連携し、民間施設等におけるWi-Fi環境の充実に努めていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策4	活みなぎる産業のまちを目指します
取組1	産業の新たな展開の推進
取組の目的	企業の新たな展開を支援するとともに、地域経済を支える企業の誘致を推進します。
現状と課題	<p>◎国内経済は回復基調にあり、近い将来においても、東京オリンピックが開催されるなど好要因もある。景気回復に伴い雇用が改善している一方、企業の人手不足の問題が生じており、今後の継続した経済成長に向けた課題となっている。</p> <p>◎人口減少社会の到来に伴い、労働力の中心である生産年齢人口の減少や製品需要の縮小により、これまで以上に生産体制の効率化や生産性の向上を図っていく必要があるとともに、自動車産業におけるEVシフトへの転換など第4次産業革命が急速に進展する中、中小企業の産業構造の変化への対応が問われている。</p>

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	企業立地件数(製造業)(件)(H28~32累計)	目標値	—	1	3	5	9	100.0%
		実績値	0	2	5			
2	製造品出荷額等(従業員4人以上)(億円)	目標値	—	5,183	5,261	5,340	5,500	100.0%
		実績値	5,175	5,370	5,768			
3	静岡理科大学と市内企業の共同研究件数(件)(H28~32累計)	目標値	—	4	8	12	20	87.5%
		実績値	4	3	7			
4	経営革新計画の承認件数(製造業)(件)(H28~32累計)	目標値	—	5	10	15	25	80.0%
		実績値	6	4	8			
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
								85.0%
								91.9%

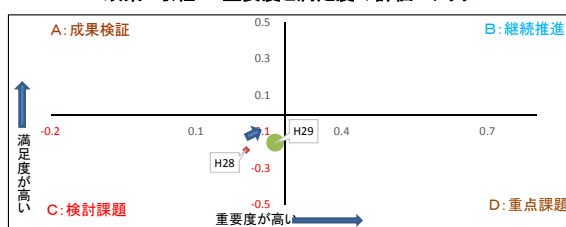
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	製造品出荷額等(百万円)従業員4人以上「平成29年工業統計調査報告書」	576,784	1,567,485	1,020,037	474,643	343,677	—
2	製造事業所数 従業員4人以上「平成29年工業統計調査報告書」	229	542	349	340	105	—
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.22	0.28			
満足度	-0.19	-0.15			

政策4取組1 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)新たな展開への支援

産学官連携推進事業	産業政策課	4,439	5,000	維持	◎
産業経済懇話会	企画政策課	1,095	614	皆減	

基本方針(2)活力ある工業の振興

袋井商工会議所補助事業	産業政策課	17,500	15,100	維持	
浅羽町商工会補助事業	産業政策課	8,290	7,800	維持	
産学官連携推進事業【再掲4-1-(1)】	産業政策課	4,439	5,000	維持	
創業支援推進事業	産業政策課	926	1,100	維持	

基本方針(3)企業誘致の推進

工場立地奨励補助金交付事業	産業政策課	72,215	39,166	拡充	
工業用地開発推進事業(藤ヶ谷川)	産業政策課	51,096	0	H29完了	
産業立地事業費補助金交付事業	産業政策課	32,516	28,248	拡充	

基本方針(4)人材育成と経営力向上の支援

袋井商工会議所補助事業【再掲4-1-(2)】	産業政策課	17,500	15,100	維持	
浅羽町商工会補助事業【再掲4-1-(2)】	産業政策課	8,290	7,800	維持	
産学官連携推進事業【再掲4-1-(1)】	産業政策課	4,439	5,000	維持	
景気対策特別資金利子補給事業	産業政策課	1,161	1,890	維持	
事業資金利子補給事業	産業政策課	702	446	拡充	
短期経営改善資金利子補給事業	産業政策課	360	432	維持	
小口資金利子補給事業	産業政策課	35	83	維持	

5. 総合評価

I. 評価の分析	<p>◎豊沢工業団地については、トッパン・フォームズ東海(株)及びトッパン・フォームズ・サービス(株)の進出が決定した。小笠山山麓開発については、農振農用地区域からの除外が完了するとともに、地権者から同意書を取得し、木質バイオマス発電所及びチップ工場を検討する企業と協議・調整を開始した。また、市内企業の事業拡張ニーズに迅速かつ的確に対応し、積極的に支援した結果、隣地等への事業拡張の動きが生まれた。さらに中長期的な観点から実施した企業立地調査結果を踏まえ、豊沢工業団地、小笠山山麓開発地区の次となる土橋地区の開発可能性調査を実施することとした。</p> <p>◎製造品出荷額等は、平成25年以降、漸増傾向であり、平成29年の5,768億円は平成3年の5,958億円に次ぐ規模となった。県西部市町がリーマン・ショック前の水準に回復していない中、本市は、それを上回る回復、成長を果たしている。多業種の既存企業の成長と近年の企業誘致の結果が寄与している。</p>	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	<p>◎豊沢工業団地の計画的な整備を実施するとともに、積極的な企業誘致活動を行い、トッパン・フォームズ東海(株)及びトッパン・フォームズ・サービス(株)の進出が決定した。小笠山山麓開発事業は、進出申請企業の立地に向けて、地権者等の合意形成と企業との協議・調整を進めた。</p> <p>◎市内企業の事業拡張を積極的に支援するとともに、補助制度のPRと遊休地を情報提供した。</p> <p>◎静岡理科大学研究会の活動を支援するとともに、大学と企業との交流促進を図った。</p>		
III. 今後の展開方向	<p>◎小笠山山麓開発地区への企業誘致をはじめ、市内遊休地への企業誘致支援や、長期的な観点から工業用地の開発可能性を探っていく。</p> <p>◎EVシフトや人口減少などの構造変化が進行する中、市内企業の持続的な成長を支援するため、商工団体や静岡理科大学などと連携しながら、販路開拓や新技術・新製品の開発促進、人材育成やIT活用などによる生産性の向上など、新たな取組を積極的に支援していく。</p>		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策4	活力みなぎる産業のまちを目指します
取組2	戦略的な観光の推進
取組の目的	まちの魅力アップと情報発信に努め、観光交流客を増やします。
現状と課題	<p>◎国では、ラグビーワールドカップ及び東京オリンピック・パラリンピックを契機とし、2020年の訪日観光客数を4千万人とするなど「観光立国推進基本計画」を策定した。地方では、地域経済の活性化に向けてインバウンド観光に力を注ぐ都市が増えている。</p> <p>◎本市を訪れる観光客の傾向は、「安く、近く、短期間、少人数で」となっているため、ラグビーワールドカップを機に、ツアー会社とも連携を図った上で魅力ある滞在型観光プランを創出し、多くの外国人観光客を呼び込み経済効果を高めていく必要がある。</p>

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	観光交流客数(千人)	目標値	—	4,470	4,540	4,610 5,000	4,750 5,100	100.0%
		実績値	4,660	4,635	4,949			
2	観光案内所来場者数(人)	目標値	—	22,000	24,000	26,000	30,000	81.0%
		実績値	6,434	17,772	19,430			
3	ホームページ等のアクセス数(観光関係)(件)	目標値	—	680,000	710,000	740,000	800,000	92.0%
		実績値	540,146	543,938	653,406			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
86.9%								91.0%

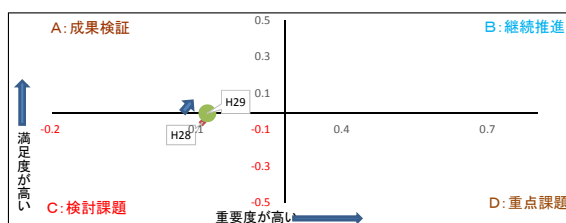
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	観光交流客数(千人) 県「平成28年度静岡県観光交流の動向」	4,635	3,816	3,723	2,691	2,254	—
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.13	0.14			
満足度	-0.05	0.00			

政策4取組2 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)袋井ブランドの創出

ふくろい遠州の火花補助事業	産業政策課	8,550	8,960	維持	
ふくろい観光ルネサンス事業	産業政策課	4,241	3,242	拡充	◎
遠州三山等魅力創設事業	産業政策課	0	50	拡充	◎

基本方針(2)マーケティングの推進

インバウンド観光推進事業	産業政策課	3,500	3,500	拡充	◎
観光案内所運営事業	産業政策課	2,065	1,763	維持	
観光関係印刷物作成事業	産業政策課	1,333	1,010	維持	
観光広告掲載事業	産業政策課	486	270	維持	

基本方針(3)担手の充実と育成

観光団体活動支援事業	産業政策課	7,650	6,650	維持	

基本方針(4)おもてなしの充実

観光施設管理事業	産業政策課	18,843	3,794	維持	

基本方針(5)戦略的な商品販売の支援

ふくろい観光ルネサンス事業【再掲4-2-(1)】	産業政策課	4,241	3,242	維持	

5. 総合評価

I. 評価の分析	<p>◎年間を通じて観光客が少なかった夏を照準に、観光協会と連携して、新たに「夏」のふくろい遠州三山風鈴まつりを実施したことで、遠州三山への観光客数が増加した。</p> <p>◎平成28年にJR袋井駅前観光案内所を設置して以来、案内所への来場者は大きく増加しているものの、目標値に対し年間4,000人ほどの乖離があるため、多くの方が案内所に立ち寄ってもらえるよう魅力的な情報を継続して発信していく必要がある。</p> <p>◎ホームページ等へのアクセス数は、最新の情報かつ魅力的な写真を掲載するよう努めた結果、大きく増加した。</p>	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	<p>◎ふくろい観光ブランドの推進として、「夏」のふくろい遠州三山風鈴まつりや「可睡齋ひなまつり」など、観光協会と連携し、観光客増加に向けた取組を実施した。</p> <p>◎2019ラグビーワールドカップを見据え、本市でスポーツツーリズムを推進するため、モニター意見を収集したほか、クラウンメロンや米など農産資源を活用した体験型観光ツアーなどのニューツーリズム商品の開発に努めた。</p>		
III. 今後の展開方向	<p>◎遠州三山を中心とした風鈴まつりや可睡齋ひなまつりなどの行事や各種イベントに対して更なる誘客を図るとともに、本市を訪れる観光客が市内を周遊しやすいよう案内板などの環境を整備する。</p> <p>◎ラグビーワールドカップを機にインバウンドを促進し、スポーツツーリズムやサイクルツーリズムなどのテーマ性を持った滞在型観光プランや地域資源を活かした体験プログラムを創出する。</p> <p>◎2020年まで行われる「静岡デスティネーションキャンペーン」を積極的に活用し、クラウンメロンなどの特産品の購入や遠州三山・茶ビアなどの施設を周遊してもらえるよう、旅行会社等へのセールスを強化していく。</p>		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策4	活力みなぎる産業のまちを目指します
取組3	経営力の高い農業の振興
取組の目的	消費者に選ばれる安全で質の高い農産物を供給し、安定的かつ効率的な農業経営を確立します。
現状と課題	◎国の成長戦略では、「担い手への農地の集約」「輸出や海外戦略の拡大」「6次産業化、農業のイノベーション化」が掲げられ、強い農業者づくりが求められている。 ◎高齢化や若年就農者の減少が進む中、担い手の育成や利用集積の推進などにより、安定的な農業生産を維持し、経営効率を高める必要がある。 ◎安全で高品質・環境に配慮した農産物の供給はもとより、農業分野でのICT化を進め、生産性と農業者の所得向上が求められる。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	主要農産物産出額(推計値) (億円)	目標値	—	76.8	76.5	76.1	75.3	91.2%
		実績値	73.3	70.6	69.8			
2	農業法人数 (法人)	目標値	—	36	37	38	40	100.0%
		実績値	40	41	44			
3	利用権設定面積 (ha)	目標値	—	1,006	1,029	1,052	1,100	95.0%
		実績値	962	967	977			
4	農業農村の多面的機能の発揮 に向けた取組面積 (ha)	目標値	—	2,080	2,085	2,090	2,100	99.2%
		実績値	2,070	2,069	2,068			
		目標値						
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
								96.2%
								96.3%

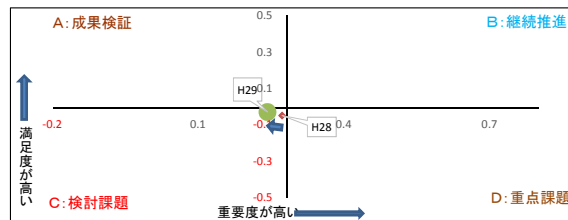
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	多面的機能認定農用地カバー率(H27) (協定農用地面積/農振農用地面積)(%)	67.6	16.5	25.3	8.3	15.2	—
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.29	0.26			
満足度	-0.04	-0.02			

政策4取組3 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に 重点化する 事業
		H29年度 実績額	H30年度 予算額	H31年度 予算の方向 性	

基本方針(1)次代の担い手育成の推進

担い手育成支援事業	農政課	7,028	11,312	維持
袋井市農業振興会補助事業	農政課	4,090	2,744	維持
経営所得安定対策推進事業	農政課	3,605	3,899	維持
クラウンメロン振興事業	農政課	2,752	1,487	維持

基本方針(2)農地の適正利用と基盤整備

磐田用水東部土地改良区負担金支出事業	農政課	32,010	26,205	維持
基幹水利施設管理事業(浅羽揚水機場)	農政課	29,229	20,236	維持
農業施設維持管理事業	農政課	16,799	20,519	維持
大井川右岸土地改良区分担金支出事業	農政課	5,610	5,610	維持

基本方針(3)農産物の高付加価値化と販路拡大

産地パワーアップ事業	農政課	124,744	19,227	維持
袋井茶振興事業	農政課	11,844	10,250	維持
世界に飛び出せメイドイン袋井推進事業	農政課	2,000	1,000	維持
6次産業化促進支援事業	農政課	1,181	1,484	維持
「ふくろいブランド米」開発販売促進事業	農政課	200	200	維持

基本方針(4)安全・安心な農産物づくりと地産地消の推進

おいしい給食推進事業	おいしい給食課	317,559	318,760	維持
農業振興推進事業費補助金	農政課	2,019	2,000	拡充 ◎

基本方針(5)農地の多面的機能の維持

多面的機能支払交付金事業	農政課	157,045	158,761	維持
部農会交付金事業	農政課	1,789	1,865	維持
環境保全型農業直接支援対策事業	農政課	599	720	維持

基本方針(6)農産物のさらなる有効活用

耕作放棄地対策事業費	農政課	4,160	4,875	継続
市民農園運営事業	農政課	278	315	継続

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎毎年度0.5%程度の減少を見込んでいる主要農産物産出額(推計値)は、担い手の育成や農地集積を推進したことにより減少幅は昨年度に比べ小さくなった。 ◎農業者数は、高齢化と後継者不足により減少する一方、他業種からの参入や農業者の法人化等により、農業法人数は増加している。 ◎クラウンメロンの海外販路拡大に向けては、これまで行ってきた東南アジア(タイ・マレーシア)や香港での取組を踏まえ、新たな流通先を開拓するとともに、消費の拡大と市場の確保を確固たるものとしていく。	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎クラウンメロンの海外輸出を促進するため、香港でイベントを開催したほか、名古屋で品評会を開催してPRを行った。 ◎お茶については、袋井茶振興協議会と連携して消費拡大のPRIに取り組むとともに、「袋井市茶業支援対策事業費補助金」を拡充し、生産者への支援を行った。 ◎お米については、国の経営所得安定対策事業により転作作物を推進し、農家所得の向上に努めた。		
III. 今後の展開方向	◎新規就農者や意欲と能力のある新たな担い手を支援するとともに、人・農地プランに基づき、農業者の法人化や農地の集約を促進する。 ◎地産地消の推進と地場野菜の耕作面積の増加を図るため、農業者・加工業者・流通業者が連携し、商品開発力を強化していく。 ◎水田フル活用ビジョンにより、地域特産作物(麦・大豆・その他)の栽培を促進するとともに、積極的にICTを活用し農業の効率化と生産性の向上を図る。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策4	活力みなぎる産業のまちを目指します
取組4	魅力的な商業の振興
取組の目的	商店の個性ある魅力づくりや経営体質の向上を支援し、にぎわいあふれるまちづくりを推進します。

現状と課題	◎商店街などでは、店主の高齢化や後継者不足による閉店に加え、主要幹線道路沿いや郊外に存する大型店舗での購買により、買い物客の減少が課題となっている。また、インターネットの通信販売を利用する消費者が増え、商業施設での買い物からインターネットでの買い物へと消費スタイルは変化している。 ◎消費生活相談の件数が年々増加しており、相談内容も複雑化・高度化している。消費者トラブルを防止し、消費者の安全・安心を確保することが不可欠である。
-------	---

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	売上(収入)金額(卸売業・小売業)(百万円)	目標値	—	240,000	240,000	240,000	240,000	—
		実績値		235,545(H23)	229,039(H27)			
2	創業件数(卸・小売業、サービス業の件数)(件)(H28~32累計)	目標値	—	22	46	72	130	26.1%
		実績値		17	19			
3	消費者講座の受講者数(人)	目標値	—	730	740	750	770	99.7%
		実績値		732	738			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
								65.9%
								62.9%

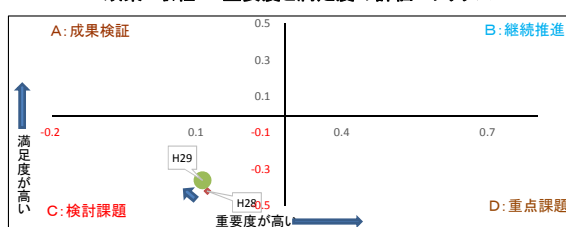
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	売上(収入)金額(卸売業・小売業)(百万円)「平成28年経済センサス活動調査」	229,039	333,276	217,100	387,270	407,245	—
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.14	0.13			
満足度	-0.41	-0.35			

政策4取組4 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1) 事業者等の経営体質の強化

袋井商工会議所補助事業	産業政策課	17,500	15,100	維持
浅羽町商工会補助事業	産業政策課	8,290	7,800	維持
景気対策特別資金利子補給事業	産業政策課	1,161	1,890	維持
短期経営改善資金利子補給事業	産業政策課	360	432	維持
小口資金利子補給事業	産業政策課	35	83	維持

基本方針(2) 魅力ある個店づくりの推進

個店魅力アップ事業	産業政策課	1,608	1,238	維持
-----------	-------	-------	-------	----

基本方針(3) 商店街活性化に向けた取組の推進

商店街イベント事業	産業政策課	1,000	300	維持
創業支援推進事業	産業政策課	926	1,100	維持
中心市街地活性化推進事業(空き店舗対策事業)	産業政策課	824	1,000	維持

基本方針(4) 消費者トラブルの解決と防止のための啓発の推進

迷惑電話対策事業	産業政策課	1,782	700	維持
消費者啓発事業	産業政策課	901	540	維持
消費生活相談事業	産業政策課	149	240	維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎個店セミナー(まちゼミ)の開催など個店の創意工夫を醸成する仕掛けづくりは一定の成果が出ている。 ◎商工会議所や商工会、金融機関等と連携し策定した「袋井市創業支援事業計画」に基づき創業塾や創業支援セミナー等を開催し、創業希望者への支援を行った。結果、昨年度においては、創業者が5人増加し合計12人となった。今後は、支援事業を利用した創業希望者に対し、創業支援事業の情報提供を行うとともに現状を伺うなかで次の支援につなげるなどのフォローアップが必要である。	H29の評価	C(一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎袋井駅前商店街協同組合が実施する、中心市街地の「にぎわいづくり」や「活性化」につながる各種イベントに対し、補助金を交付した。 ◎創業相談会や創業希望者掘り起しセミナー、創業塾を実施するとともに創業支援ネットワーク連絡会により支援団体の連携を図った。		
III. 今後の展開方向	◎まちのにぎわいを創出するため、商店街が開催するイベントや空き店舗を活用して開業した事業者などを支援するとともに、「個店セミナー」や「個店めぐりスタンプラリー」などにより、個店の魅力アップやその情報発信の機会を創出していく。 ◎商業の新たな担い手の発掘とにぎわいの創出を図るため、創業希望者へ実践と人材交流の場を提供していく。 ◎商業施設については、物売る場とともに、人が集う機能を備えたエリアへの転換を検討していく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策4	活力みなぎる産業のまちを目指します
取組5	雇用環境の充実
取組の目的	地域経済と市民生活の基盤を確立するため、誰もが安心して働ける雇用環境を充実させます。
現状と課題	◎ハローワーク磐田管内の有効求人倍率は、平成27年12月に1倍台に回復して以来、上昇を続けており、平成30年4月には1.39倍に達するなど、雇用の改善が進む一方、企業においては、人手不足の問題が生じている。 ◎少子化や高齢化などにより、将来的に労働力不足が懸念されることから、生産性の向上と働き方の見直しを進めるとともに、就労意欲のある女性や高齢者の方が安心して働くことができるよう、多様で柔軟な働き方を実現することが求められている。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	高校生と企業を結ぶ合同企業説明会への市内参加企業数(社)	目標値	—	17	19	21	25	100.0%
		実績値	13	15	19			
2	市内学校でのインターンシップの参加率(%)	目標値	—	62.0	63.0	64.0	66.0	100.0%
		実績値	64.6	57.5	66.7			
3	サンライフ袋井の施設利用者数(人)	目標値	—	20,100	20,200	20,300	20,500	100.0%
		実績値	20,130	22,432	23,939			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
								93.6%
								100.0%

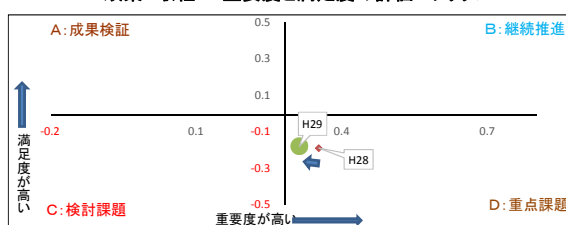
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	御殿場市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.37	0.33			
満足度	-0.18	-0.17			

政策4取組5 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)雇用の安定と促進

雇用対策事業	産業政策課	174	652	維持

基本方針(2)就労支援の推進

3Days Worker's Office構想推進事業(協議会貸付金)	産業政策課	20,000	20,000	維持
内職・職業相談事業	産業政策課	1,098	1,098	維持

基本方針(3)勤労者福祉の充実

サンライフ袋井管理運営事業	産業政策課	26,444	27,111	維持
勤労者住宅建設資金利子補給事業	産業政策課	22,614	23,966	維持
遠州ライフサポートセンター支援事業	産業政策課	7,960	7,960	維持
袋井地区労働者福祉協議会補助事業	産業政策課	737	679	維持
袋井市勤労者福祉協議会補助事業	産業政策課	737	707	維持
勤労者教育資金利子補給事業	産業政策課	656	801	維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎合同企業説明会においては、積極的な広報活動によって市内参加企業数が増え、目標を達成することが出来た。今後も、積極的にPR活動を行い、企業と高校生両方にとって魅力のある事業にしていこう。 ◎中小企業の「魅力」や「求める人材」を周知するとともに、企業担当者から直接情報を開ける場として、「高校生と企業を結ぶ合同企業説明会」や「地元企業見学バスツアー」を開催し、学生の職業観の醸成や地元企業への関心を高めた。また、中小企業を中心に労働力不足が経営課題となっており、売り手市場の中で企業側のニーズへの対応が課題になっている。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎3Days Worker's Office構想の実現に向け、ふくろいTaskAru(タスカル)ネットワーク事務局を開設するなど、事業の推進体制を整えた。 ◎中小企業の「魅力」や「求める人材」を周知するとともに、企業担当者から直接情報を開ける場として「高校生と企業を結ぶ合同企業説明会」や「高校生対象の地元企業見学バスツアー」を開催した。 ◎サンライフ袋井の施設利用者を増やすため、定期講座の定員枠の拡大や、短期講座を積極的に開催するとともに、チラシの新聞折り込みにより周知を図った。		
III. 今後の展開方向	◎3Days Worker's Office構想については、ふくろいTaskAruネットワーク事務局を中心に、雇用の場の創出に向け、就労相談や座談会など、高齢者と企業双方への普及啓発を行っていく。 ◎市内企業における人手不足を解消するため、働き方改革や生産性向上の取組など、企業の取組を支援し、人材確保に努めていく。 ◎勤労者の働きやすい環境を整備するため、勤労者に対する融資制度、袋井市労働者福祉センター(サンライフ袋井)の運営、遠州ライフサポートセンターの運営支援により、勤労者福祉の充実を図っていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策5	安全・安心に暮らせるまちを目指します
取組1	地震災害に強いまちづくりの推進
取組の目的	大規模地震による「人命被害ゼロ」を目指し、市民や地域、企業、行政が一体となって災害に強いまちづくりを推進します。
現状と課題	◎静岡県第4次地震被害想定を踏まえ、平成26年3月に人命被害ゼロを目標に「袋井市地震・津波対策アクションプログラム2013」を策定し、平成34年度までの地震・津波対策の具体的な計画目標を定め計画的に進めている。 ◎近年、日本各地で地震や大雨による自然災害が発生しており、特に、平成30年6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨では甚大な被害となった。 ◎市民の生活と財産を守るため、防潮堤などのハード整備を進めるとともに、防災訓練等を通じて、より一層の地域防災力の強化が求められる。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	住宅の耐震化率(%)	目標値	—	92.6	93.2	93.9	95.0	100.0%
		実績値	92.0	92.6	93.3			
2	防災訓練の参加者人数割合(12月訓練実施時)(%)	目標値	—	72.6	74.4	76.2	80.0	91.0%
		実績値	68.1	67.7	67.7			
3	防潮堤整備延長(市施工分)(km)	目標値	—	1.6	3.1	3.5	3.8	100.0%
		実績値	0.1	1.2	3.5			
4	「メローねっと」の登録率(防災情報)(%)	目標値	—	23.6	30.2	36.8	50.0	50.0%
		実績値	12.1	14.3	15.1			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
81.5%								85.2%

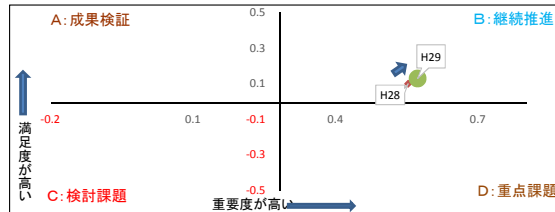
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.57	0.59			
満足度	0.11	0.14			

政策5取組1 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)一般住宅の地震対策

木造住宅耐震補強助成事業	都市計画課	66,400	14,000	維持
既存建築物耐震性向上事業	都市計画課	17,755	9,035	維持
ブロック塀等耐震改修促進事業	都市計画課	4,432	3,000	維持
家庭内減災対策推進事業	危機管理課	775	2,904	維持

基本方針(2)地域防災力の強化

自主(連合)防災隊育成事業	危機管理課	26,504	23,906	維持
水防運営事業	危機管理課	4,011	3,204	維持
防災訓練事業	危機管理課	1,080	1,092	維持

基本方針(3)津波被害軽減の推進

静岡モデル(袋井市)防潮堤整備事業【3-4-(5)再掲】	建設課	493,497	181,417	維持	◎
------------------------------	-----	---------	---------	----	---

基本方針(4)原子力災害への対策

地域防災計画等推進事業	危機管理課	564	979	維持
-------------	-------	-----	-----	----

基本方針(5)防災拠点施設の強化

袋井消防庁舎・袋井市防災センター整備事業	危機管理課	187,161	273,553	拡充	◎
災害対策用資機材等整備事業	危機管理課	26,569	14,585	維持	
消防施設管理事業(消火栓・耐震性防火水槽)	危機管理課	26,532	18,000	維持	

基本方針(6)医療救護体制の強化

災害対策用資機材等整備事業【5-1-(5)再掲】	危機管理課	26,569	14,585	維持
救護所運営事業	健康づくり課	331	4,612	維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎市民の重要度・満足度いずれも高まっている。木造住宅の耐震補強や家庭内家具への転倒防止器具の取付など各家庭での対策に継続的に取り組んでいる。防災訓練への参加者割合は前年同様となっており、引き続き、多くの住民が参加する対策を行っていく必要がある。 ◎「メローねっと」の登録率は、地域防災対策会議や班内回覧、事業所へのダイレクトメールなど様々な機会において、パンフレットの配布と説明などの実施により、増加しており、引き続き、啓発等を行い、登録の推進を図る必要がある。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎袋井消防署・袋井市防災センターの整備は、平成32年度の開署に向け、着実に事業を進めており、平成29年度は敷地造成工事を行った。 ◎木造住宅に対する耐震補強について、期間限定であったが、県の補助制度に即して、補助額を拡充し実施した。 ◎メローねっと登録者増加に向け、防災隊長会議・地域防災対策会議・出前講座・班内回覧・事業所へのダイレクトメールなどにおいて、パンフレットの配布と説明などを随時実施した。		
III. 今後の展開方向	◎住民に身近なコミュニティセンターを拠点に、地域住民の「自助」「共助」を高め、地域防災力の強化を図る。 ◎広い年齢層の防災訓練への参加を促し、より多くの地域住民が参加する防災訓練を実施していく。 ◎災害発生の際に各住宅の被害を軽減するため、引き続き、ホームページによる周知やダイレクトメールの送付などを実施し、木造住宅耐震補強助成や感震プレーカーの設置助成を行っていく。 ◎メローねっとは、市民が防災・災害に関する情報を容易かつ迅速に入手できる有益なツールであるため、様々な機会を通じて登録を呼びかけていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策5	安全・安心に暮らせるまちを目指します
取組2	治水・治山対策の推進
取組の目的	市民が安全・安心に暮らせるように、総合的な治水対策に取り組むとともに、土砂災害に対する市民意識の高揚を図ります。
現状と課題	◎近年、全国各地で突発的、局地的な豪雨による浸水被害が多発している。 ◎国、県、市町等の関係機関が一体となりハード、ソフトの両面から総合的な治水対策を進めていくことが必要である。このため、関係機関で水害リスクを強化し、連携して対応できる体制の構築が求められているとともに、本市においても河川排水路、雨水貯留施設の整備といったハード対策を推進しつつ、防災情報や水害リスクの共有と円滑な避難を行う取組といったソフト対策を充実する必要がある。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	浸水被害想定家屋数(戸)	目標値	—	295	261	261	261	100.0%
		実績値	295	295	261			
2	治水対策のための雨水貯留量(m)	目標値	—	61,650	77,610	78,870	82,190	80.3%
		実績値	60,290	62,326	62,326			
3	土砂災害ハザードマップ作成率(%)	目標値	—	59.1	68.2	80.0	100.0	97.8%
		実績値	59.0	59.0	66.7			
4	土砂災害防災訓練の実施地区数(自治会)	目標値	—	5	5	5	5	100.0%
		実績値	1	12	8			
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
100%								94.5%

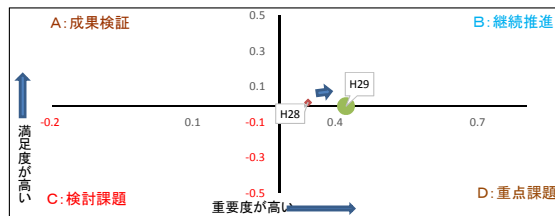
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.36	0.44			
満足度	0.02	0.00			

政策5取組2 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)総合的な治水対策の推進

高尾第1幹線改修関連事業	建設課	62,342	4,500	維持	
松橋川改修事業	建設課	30,425	39,000	拡充	◎
校庭貯留施設整備事業	建設課	26,743	13,700	維持	
袋井駅南地区調整池整備事業	建設課	0	2,500	拡充	◎

基本方針(2)土砂災害への対策

土砂災害防止事業	建設課	648	1,000	維持	

基本方針(3)急傾斜地崩壊対策事業の推進

急傾斜地崩壊対策事業	建設課	15,000	4,000	維持	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎近年、全国各地で記録的な大雨等による洪水や土砂災害が発生しており、平常時からリスクを把握し、災害発生時に迅速な対応が図られる対策が必要である。 ◎高尾放水路の整備が完了し、浸水被害想定家屋数が34戸減少した。 ◎袋井東小学校貯留施設は現在整備中であり、平成29年度実績では雨水貯留量が目標値に達しなかったが、平成30年度完了に向け、整備を進めている。 ◎県等と協力して、市内342箇所の土砂災害危険箇所のうち、平成29年度までに、274箇所の土砂災害警戒区域を指定し、警戒区域の見直しに併せ、順次ハザードマップの作成に取り組んでいる。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎流域治水対策として、高尾放水路、松橋川、油山川の整備を行ったほか、袋井東小学校校庭貯留施設の整備を開始した。また、袋井駅南地区の調整池整備に向けた検討を行った。 ◎県の新たな土砂災害警戒区域の指定(市内46箇所)に併せて、事前に区域内の住民を対象に説明会を実施した上で、「土砂災害ハザードマップ」を作成した。 ◎宇刈時ヶ谷地区において急傾斜地崩壊防止工事に着手した。		
III. 今後の展開方向	◎引き続き、松橋川・油山川などの河川改修や校庭貯留施設の整備を進めるほか、袋井駅南地区に調整池を整備し、ハード面での治水対策を行っていく。また、想定最大規模の降雨の浸水想定区域に基づいた洪水ハザードマップを作成し、災害リスクの周知を行う。 ◎土砂災害計画区域の未指定箇所(市内68箇所)について、県と連携を図りながら区域指定を進めるとともに、指定箇所の見直しに合わせて、「土砂災害ハザードマップ」を順次作成していく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策5	安全・安心に暮らせるまちを目指します
取組3	交通安全・防犯対策の推進
取組の目的	地域、学校、警察などの関係団体と連携し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。
現状と課題	◎国や警察による治安対策、自治体や防犯ボランティア団体等による犯罪抑止対策により刑法犯認知件数は減少し、数値面での改善が図られている。 ◎犯罪認知件数は、袋井警察署が開幕して以来傾向し、平成27年から、ほぼ横ばいで推移している。引き続き、警察等と連携し、犯罪対策の周知を図る必要がある。 ◎平成28年の高齢者関連事故における人口10万人当たりの交通事故発生件数は、県平均を上回っている。全国的に増加傾向にある高齢者の交通事故防止対策が課題となっている。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	子ども・高齢者の交通事故件数(件)	目標値	—	239	236	230 225	227 217	80.5%
		実績値	287	285	282			
2	人身事故件数(件)	目標値	—	700	700	700	700	93.0%
		実績値	758	720	749			
3	免許証返納者数(人)	目標値	—	176	186	196 318	216 390	100.0%
		実績値	165	196	286			
4	不審者情報件数(件)	目標値	—	32	27	22	12	100.0%
		実績値	35	33	22			
5	刑法犯認知件数(件)	目標値	—	624	618	624 565	624 555	100.0%
		実績値	570	573	467			
96.2%								94.7%

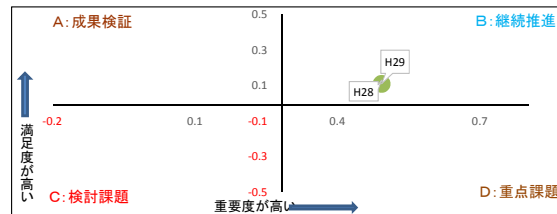
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	刑法犯認知件数(人口千人当たり)(件) 県警「市区町別に見た平成29年の犯罪」	5.4	5.8	4.1	3.8	4.4	5.6
2	交通事故発生件数(人口10万人当たり)(件) 県警「平成29年交通年鑑」	821.9	880.2	826.0	897.4	648.8	836.7
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.51	0.51			
満足度	0.14	0.12			

政策5取組3 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)子どもを交通事故から守る取組の推進

交通安全施設整備事業	協働まちづくり課	20,239	21,000	維持
交通安全対策推進事業【再掲2-2-(3)】	協働まちづくり課	7,860	7,940	維持

基本方針(2)高齢者の事故防止の推進

交通安全施設整備事業	協働まちづくり課	20,239	21,000	維持
交通安全対策推進事業【再掲2-2-(3)】	協働まちづくり課	7,860	7,940	維持

基本方針(3)交通安全対策の推進と自転車等の運転マナーの向上

交通安全施設整備事業	協働まちづくり課	20,239	21,000	維持
交通安全対策推進事業【再掲2-2-(3)】	協働まちづくり課	7,860	7,940	維持

基本方針(4)地域における防犯活動の支援

防犯灯設置事業	協働まちづくり課	14,067	12,550	維持
防犯対策推進事業【再掲2-2-(3)】	協働まちづくり課	1,906	855	維持

基本方針(5)空き家・空き地対策の推進

空き家対策事業	都市計画課	51	346	拡充	◎

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎平成29年の人口10万人当たりの交通事故発生件数では、県平均を下回っている。高齢者の交通事故については、本市では大幅な増加傾向は見られないものの啓発等対策が必要である。 ◎人口千人当たりの刑法犯認知件数は県平均を上回っている。防犯教室の開催や防犯グッズの配布、青色回転灯防犯バトロールなどを実施しているが、今後も市民が刑法犯罪の被害者とならないよう、地域や袋井警察署と連携して地域防犯に取り組む必要がある。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎交通安全対策として、小学校入学児童に対し、交通安全キャンペーンを行い、啓発品を配布した。(幼稚園入園児にも同様) ◎小売店での「シートベルトとチャイルドシート着用キャンペーン」を実施するとともに、県交通安全協会袋井地区支部の交通指導員が、高齢者対象の教室や幼稚園・保育所、小・中学校での交通安全教室を実施した。		
III. 今後の展開方向	◎高齢者の交通事故を防止するため、交通安全キャンペーンや、県交通安全協会の交通指導員による高齢者交通安全教室を実施し、人身事故の削減を図る。また、高齢運転者の運転免許自主返納を促進するため、運転経歴証明書の発行手数料助成制度を導入する。 ◎袋井警察署や袋井市防犯推進協会などと連携を密にし、犯罪を未然に防ぐ学習機会の提供や地域における防犯バトロールなどを実施し、市民の防犯意識を高めていく。 ◎今年度策定予定の「袋井市空家等対策計画」に基づき、空家等対策協議会と連携し相談体制の構築を図るなど、危険な空家等の発生予防に努めていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策5	安全・安心に暮らせるまちを目指します
取組4	消防・救急救助体制の充実
取組の目的	市民一人ひとりの防火・防災意識が高く、迅速な災害対応が図れる安心して暮らせるまちづくりを推進します。
現状と課題	◎台風や大雨などの発生により、日本各地で土砂災害等の自然災害が数多く発生している。市民が安全・安心に暮らせる災害に強いまちを形成するため、平常時から市民一人ひとりの防災意識の向上を図るとともに、災害時に迅速に対応できる防災力の強化が求められる。 ◎少子化やライフスタイルの多様化などにより、各地域の防災を担う消防団員を継続して確保していくことが必要である。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	出火率(人口1万人あたり火災件数)(件)	目標値	—	3.0	3.0	3.0	3.0	16.7%
		実績値	3.7	2.6	5.5			
2	単身高齢者世帯(80歳以上)への住宅防火訪問実施率(%)	目標値	—	9.5	10.0	10.5	11.5	88.0%
		実績値	9.2	8.4	8.8			
3	消防水利(消火栓・防火水槽)の設置数(箇所)	目標値	—	1,862	1,868	1,874	1,888	100.0%
		実績値	1,856	1,862	1,867			
4	普通救命講習受講者数(人)	目標値	—	7,808	8,050	8,300	8,800	93.8%
		実績値	6,892	7,247	7,547			
5	消防団員数の充足率(%)	目標値	—	100.0	100.0	100.0	100.0	90.3%
		実績値	95.8	90.3	90.3			
		目標値						
		実績値						
								94.3%
								77.7%

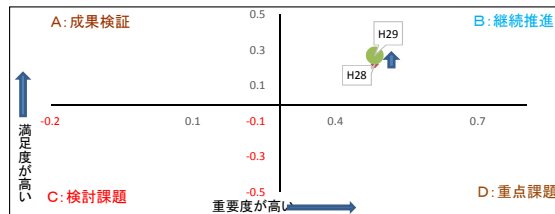
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	火災出火件数(人口10万人当たり)(件) 県「平成29年版火災統計と消防の現況」	24.5	36.5	40.1	20.9	32.2	26.1
2	消防団員数(人口千人当たり)(人) 県「平成29年版火災統計と消防の現況」	6.9	7.0	6.9	4.1	4.5	5.4
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.50	0.50			
満足度	0.23	0.28			

政策5取組4 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	
基本方針(1) 消防力の強化					
袋井消防庁舎・袋井市防災センター整備事業【5-1-(1)再掲】	危機管理課	187,161	273,553	拡充	◎
袋井消防庁舎・袋井市防災センター整備事業	消防本部総務課	19,177	716,318	拡充	◎

基本方針(2) 火災予防の推進

家庭内減災対策推進事業【5-1-(1)再掲】	危機管理課	775	3,004	維持	

基本方針(3) 救急救命体制の強化

普通救命講習受講促進事業	袋井消防署	0	0	維持	
応急手当普及促進事業	袋井消防署	0	0	維持	

基本方針(4) 消防団活動の支援

消防団運営事業【5-1-(2)再掲】	危機管理課	102,246	111,738	維持	
消防団備品購入事業(車両機械)	危機管理課	19,764	19,980	維持	
消防団施設維持管理事業(車庫)	危機管理課	0	63,030	縮小	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎火災件数は昨年度に比べ25件多く、中でも放火が疑われる出火が19件と大きく増加した。 ◎消防水利の未充足地域への防火水槽や消火栓を計画的に設置しており、防災力の強化に努めている。 ◎普通救命講習の受講者数は、目標値には到達していないものの、企業等の協力を得ながら着実に参加者が増加している。今後は、これまで比較的受講が少ない中小企業に焦点をあて、受講を促していく必要がある。 ◎ライフスタイルの多様化などにより、団員確保が困難となる中、団員数は横ばいを維持している。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎年度当初に放火等による火災が多く発生し、日中と夜間において車両巡回等を実施し警戒を強化するとともに、同報無線やメローネット、ホームページ等で注意喚起を行った。 ◎消防水利の未充足地域に消火栓や防火水槽を設置した。 ◎「風通しの良い消防団」を目標に掲げ、互いに相談しやすい組織づくりを進めるなど、団員の活動しやすい環境づくりに努めた。		
III. 今後の展開方向	◎平成32年4月の袋井消防庁舎・袋井市防災センターの開署に向け、防災と消防が連携して迅速かつ効率的な災害対応を行う体制を構築し、防災・消防体制の強化を図る。 ◎引き続き、自治会等の協力を得ながら、消防団活動の必要性を呼びかけるとともに、団員の負担軽減対策を進めることで、団員確保に努めていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策5	安全・安心に暮らせるまちを目指します
取組5	安全な水の安定供給
取組の目的	水道施設の計画的な更新と適正な管理を行い、安全でおいしい水道水を安定的に供給します。
現状と課題	◎事業所や家庭において節水意識が高まっているとともに、節水器具等が普及していることなどに加え、人口減少社会の到来により、今後有収水量の減少が見込まれることから、安定した料金収入の確保が課題となっている。 ◎高度成長期に整備した水道施設の更新や、近年発生している地震災害等を踏まえた施設の耐震化等、安全な水道水を安定的に供給するため、中長期的な視点から収支バランスを図った健全な経営を進める必要がある。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	水道の基幹管路耐震適合率(%)	目標値	—	41.5	42.8	44.0	47.2	100.0%
		実績値	41.3	42.1	44.0			
2	水道事業の営業収支比率(%)	目標値	—	106.1	107.1	108.1	110.0	97.3%
		実績値	100.6	105.6	104.2			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
								99.6%
								98.6%

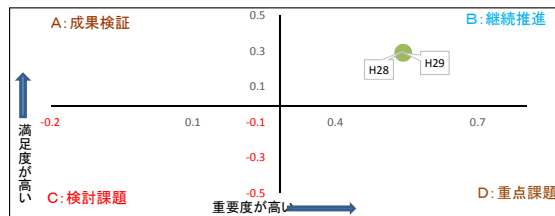
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	基幹管路の耐震適合率(%) 県「静岡県の水道の現況(平成28年度)」	42.1	66.3	42.1	45.9	64.5	37.1
2	水道事業・簡易水道事業の経常収支比率(%) 県「市町財政の状況(平成28年度)」から算出	112.7	107.2	104.3	128.1	136.5	115.8

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.56	0.56			
満足度	0.31	0.30			

政策5取組5 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)水道水の安定供給の確保

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	
基幹管路耐震化事業	水道課	312,454	322,900	拡充	◎
配水系統再編事業	水道課	87,978	39,000	拡充	
老朽管更新事業	水道課	35,490	49,000	拡充	◎
小口径老朽管更新事業	水道課	17,602	15,000	継続	

基本方針(2)水道事業の健全経営の確保

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	
アセットマネジメント計画策定業務	水道課	0	9,500	皆減	

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎災害に備えるため、基幹管路耐震化のスピードアップが求められていることから、施工費がより安価な耐震管を採用することにより、計画よりも更新延長が延伸し、目標値以上の結果となった。また、基幹管路の対象口径の設定が各市において異なっているため、耐震適合率を単純に比較できないが、本市においては基幹管路耐震化のスピードアップが図られている。 ◎営業収益は増加(約1,800万円)したものの、修繕費や資産減耗費の増加により、営業費用が増加(約3,500万円)したため、営業収支比率は前年度比1.2%減となったが、収支は黒字となっている。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎基幹管路の耐震化を進めるため、耐震管への更新を2.8km実施した。 ◎収納率向上や経費節減に取り組むことはもとより、総費用の約4割を占めている遠州広域水道受水費の低減のため、県及び遠州水道受水5市町と協議を進めた。		
III. 今後の展開方向	◎「中期経営計画(平成28~32年度)」に基づき、健全経営の確保に努めるとともに、基幹管路の耐震化を推進していく。平成30年度では「アセットマネジメント計画」の策定、「袋井市水道事業基本計画」、「老朽管更新(耐震化)第2次計画」を更新し、中長期的な視点で収支バランスを保ち、計画的な施設更新を進めていく。 ◎遠州広域水道の受水費の低減に向け、県へ要望するとともに、引き続き県と受水5市町と協議を進めていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策6	市民がいきいきと活躍するまちを目指します
取組1	市民と行政の協働によるまちづくり
取組の目的	市民や地域が地域づくりに主体的に取り組む体制をつくり、市民と行政の協働によるまちづくりを推進します。
現状と課題	<p>◎1人暮らし世帯やアパート入居者の増加に加え、価値観の多様化などにより、自治会への加入者は、年々減少している。</p> <p>◎地域が主体となった地域づくりを進めていくため、平成30年4月市内14箇所にコミュニティセンターを設置し、各地区ではまちづくり協議会が設立された。今後、特色ある地域づくり活動が充実されるには、多くの地域住民の参画が必要であり、新たな担い手を確保していく取組が必要である。また、地域住民の活動拠点となるコミュニティセンターを安心・安全な状態を維持するため、計画的な施設の修繕と長寿命対策を図る必要がある。</p>

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	自治会加入率 (%)	目標値	—	88.0	88.5	89.0	90.0	97.6%
		実績値	87.5	87.2	86.4			
2	地域主体による新たなまちづくり事業(コミュニティ事業)に取り組んだ数(事業)	目標値	—	2	4	10	24	100.0%
		実績値	2	3	5			
3	協働まちづくりセンターの登録団体数(団体)	目標値	—	54	58	62	70	93.1%
		実績値	52	58	54			
4	NPO団体等が企業と連携し実施した事業数(事業所)	目標値	—	2	4	6	10	100.0%
		実績値	0	3	9			
5	コミュニティセンターの利用者数(人)	目標値	—	390,000	395,000	400,000	410,000	100.0%
		実績値	375,453	381,625	400,586			
		目標値						
		実績値						
74.5%								97.7%

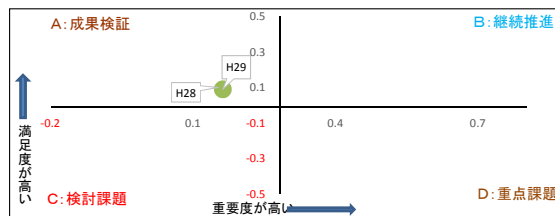
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策6取組1 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.17	0.18			
満足度	0.11	0.10			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)自治会(連合会)活動の維持・促進

自治会関係支援事業	協働まちづくり課	81,933	76,454	維持
パートナーシップによるまちづくり事業(コミュニティセンター推進事業)	協働まちづくり課	13,141	300	維持

基本方針(2)市民活動の促進

パートナーシップによるまちづくり事業【再掲6-1-(1)】(コミュニティセンター推進事業)	協働まちづくり課	13,141	300	維持
協働まちづくり推進事業	協働まちづくり課	2,634	2,990	維持
市民活動普及事業	協働まちづくり課	2,000	2,000	維持

基本方針(3)交流・連携の機会の創出

パートナーシップによるまちづくり事業【再掲6-1-(1)】(コミュニティセンター推進事業)	協働まちづくり課	13,141	300	維持
コミュニティ活動支援事業	協働まちづくり課	5,000	2,500	拡充
市民活動普及事業【再掲6-1-(2)】	協働まちづくり課	2,000	2,000	維持

基本方針(4)パートナーシップによるまちづくり

パートナーシップによるまちづくり事業【再掲6-1-(1)】(コミュニティセンター推進事業)	協働まちづくり課	13,141	300	維持
---	----------	--------	-----	----

基本方針(5)地域コミュニティの充実・支援

パートナーシップによるまちづくり事業【再掲6-1-(1)】(コミュニティセンター推進事業)	協働まちづくり課	13,141	300	維持
コミュニティ活動支援事業【再掲6-1-(1)】	協働まちづくり課	5,000	2,500	拡充

基本方針(6)活動拠点の整備・支援

コミュニティ施設整備支援事業	協働まちづくり課	4,752	14,006	拡充	◎
協働まちづくりセンター管理事業	協働まちづくり課	707	802	維持	
コミュニティセンター等管理運営事業	協働まちづくり課	0	129,403	維持	
袋井西コミュニティセンター整備事業	協働まちづくり課	0	26,495	拡充	◎

5. 総合評価

I. 評価の分析	<p>◎少子高齢化や核家族化などにより地縁的なつながりが希薄化している。今後迎える人口減少社会に向けては、高齢者や子育て世帯への支援や防災対策などにおいて地域での取組が継続して実施されるよう、住民や団体への支援を充実していく必要がある。</p> <p>◎各自治会や不動産管理業者等の協力を得て、自治会加入の働きかけを行っているが、一人暮らし世帯やアパート入居者の増加、市民の価値観の多様化などの影響により、自治会加入率は減少し、加入率を増加させていく目標と乖離しており、引き続き、加入促進に取り組んでいく必要がある。</p> <p>◎地域主体による新たなまちづくり事業や、NPO団体等が企業と連携し実施した事業は、昨年度よりも増加しており、まちづくりに対する協働の意識は地域や企業、団体等にも浸透していると考えられる。</p>	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	<p>◎平成30年4月のコミュニティセンターへの移行をスムーズに行うため、市民を対象とした説明会を行い、住民の理解を深めた。</p> <p>◎各自治会や不動産管理業者等の協力を得て、アパート住民等に対して周知や啓発するなど働きかけを行うとともに、転入者に対してチラシを配布し、自治会加入の促進に努めた。</p>		
III. 今後の展開方向	<p>◎各地域と連携して自治会への加入を働きかけていくとともに、広報紙や転入者へのチラシ配布など啓発を強化し、自治会加入の促進に努めていく。</p> <p>◎特色ある地域活動が充実するよう、地区まちづくり協議会の活動へ地域住民の参画を促すとともに、地域におけるサービスの担い手確保に努めていく。</p> <p>◎30代から50代の現役世代(子育て世代)に地域のまちづくりへの参画を促すため、まちづくり協議会の活動に対して興味を持ってもらうよう情報発信に努めていく。</p>		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策6	市民がいきいきと活躍するまちを目指します
取組2	多様な文化の創造
取組の目的	市民や団体等の主体的な文化・芸術活動を支援するとともに、国際感覚を持つ人材の育成を推進します。
現状と課題	◎文化や生活スタイルが異なる、様々な国や地域の方たちが、互いを認め、支え合いながらまちづくりを進めていく必要がある。また、国際的な視野を持ち、国際社会で活躍できる人材を育成していくほか、本市へ訪れる外国人が滞在しやすい環境の整備が求められる。 ◎生涯学習や文化・芸術の振興は、個人の成長を促すだけでなく、活動を通じて人や社会とのつながりが深まり、学んだ成果が地域に還元されるといった、地域社会の活性化や発展につなげていくことが求められている。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	歴史資料館(歴史文化館・郷土資料館・近藤記念館)の入館者数(人)	目標値	—	16,200	17,200	17,400	17,800	85.0%
		実績値	17,170	14,470	14,613			
2	多文化共生を推進するための講座数(講座)	目標値	—	8	8	9	10	100.0%
		実績値	7	7	8			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
								88.4%
								92.5%

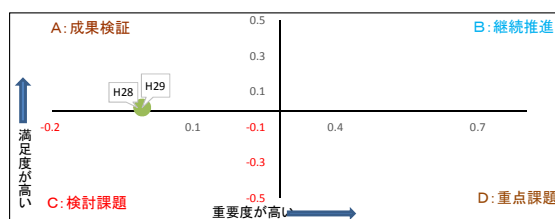
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	歴史資料館等の入館者数(H29年度)	14,613 (歴史文化館・郷土資料館・近藤記念館)	1,820 (埋蔵文化センター)	228 (埋蔵文化センター)	134,248 (郷土博物館・文学館)	8,531 (富士山資料館)	—
2							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.00	0.01			
満足度	0.02	0.02			

政策6取組2 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)文化・芸術の推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	H31年度に重点化する事業
市民文化活動補助事業	生涯学習課	5,990	6,490		維持
彫刻のあるまちづくり事業	生涯学習課	1,110	3,662		維持

基本方針(2)郷土の歴史や文化財の保護・顕彰

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	H31年度に重点化する事業
郷土資料館運営事業	生涯学習課	5,711	5,879		維持
歴史文化館運営事業	生涯学習課	3,147	3,285		維持

基本方針(3)多文化共生の推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	H31年度に重点化する事業
多文化共生推進事業	企画政策課	3,803	4,919		拡充 ◎

基本方針(4)国際化に向けた人材育成と環境の整備

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	H31年度に重点化する事業
ふくろい版ホームステイ推進事業	企画政策課	3,620	6,800		維持 ◎
国際交流推進事業	企画政策課	0	4,632		維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎本取組における市民の重要度は過去2か年において最も低いが、多文化共生の推進は本市の重要施策の一つであり、市民への啓発も強化した上で推進していく必要がある。 ◎国際交流室を新設し、国籍や文化が異なる方が集う機会を設け交流を深めるとともに、ラグビーワールドカップ開催に向け、袋井版ホームステイの制度設計を行うなど、多文化共生の取組を進めている。 ◎歴史文化資料館では、企画展・特別展の開催や体験学習を中心とした小学校授業との連携などの機会を充実したことにより、歴史文化館・郷土資料館・近藤記念館の入館者数は、目標値に到達していないものの、昨年度より増加した。	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎歴史文化資料館の運営では、企画展・特別展の開催や体験学習を中心とした小学校授業との連携など、市民が地域の歴史を学ぶ機会、触れる機会を設け、生涯学習の充実を図った。 ◎日本語教室や外国人支援を行う団体等の情報提供を行った。また、国際交流員を中心に、各幼稚園で外国の言語や文化に触れる体験を行ったほか、異文化理解出前講座を開催した。 ◎国際交流に関心のある方を「ハローフレンド」として募り、交流イベントには多くのハローフレンドに参加いただいた。また、「ふくろい版ホームステイ」の実施に向け、ホストファミリーの育成に努めた。		
III. 今後の展開方向	◎歴史文化資料館においては、引き続き、ニーズを把握するとともに、魅力的な展示会や小学校の授業に即した体験学習などを開催していく。また、浅羽図書館、メロブプラザ、茶文化資料館とのコラボレーションなどの事業連携や情報発信を強化し、市内外からの集客に努めていく。 ◎平成30年度「(仮)多文化共生推進計画」を策定し、多様性を活かした活力ある地域づくりを進めていく。「袋井版ホームステイ」やスポーツ、料理教室など、英語や異文化に触れ合う機会を設け、「ハローフレンド」のメンバーなどとともに国際交流を深めていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策6	市民がいいきと活躍するまちを目指します
取組3	共生社会の確立
取組の目的	多様な価値観を認め合い、互いに支え合い、個性と能力を発揮できる社会の実現を目指します。
現状と課題	◎女性や子ども、高齢者、障がいのある方、外国人などに加え、LGBTやインターネット上での中傷など、人権に関する問題が多様化・複雑化している。誰もが人間らしく暮らすことができる社会を実現するため、年齢や性別など、お互いの違いを認め合い、支え合うことが重要である。 ◎平成28年の女性活躍推進法の施行に伴い、働き方改革とワーク・ライフ・バランスの見直しが求められている。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所の数(事業所)	目標値	-	38	55	60	70	89.1%
		実績値	39	49	49			
2	市の審議会等の女性委員の割合(%)	目標値	-	37.0	37.2	38.1	70.0	100.0%
		実績値	35.4	36.7	37.2			
3	虐待予防教室の参加者数(人)	目標値	-	80	90	100	120	100.0%
		実績値	27	62	136			
4	家庭児童相談室への実相談者数(人)	目標値	-	150	153	156 300	162 300	100.0%
		実績値	159	199	295			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
								94.2%
								97.3%

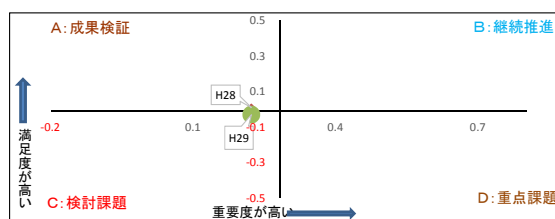
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所の数(県男女共同参画課ホームページ平成30年4月現在)(事業所)	49	40	150	49	14	-
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.24	0.24			
満足度	0.02	-0.02			

政策6取組3 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)男女共同参画社会の実現

男女共同参画プラン推進事業【再掲1-1-(4)】	協働まちづくり課	291	626	維持

基本方針(2)女性の活躍の推進

男女共同参画プラン推進事業【再掲6-3-(1)】	協働まちづくり課	291	626	維持
行政改革推進事業	企画政策課	217	366	維持

基本方針(3)生活困窮家庭の生活支援

生活保護事務	しあわせ推進課	589,895	608,598	維持
生活保護適正実施推進事業	しあわせ推進課	2,384	3,108	維持

基本方針(4)虐待の予防及び早期対応

家庭児童相談室運営事業	しあわせ推進課	3,533	3,693	維持
虐待予防事業	健康づくり課	217	652	維持

基本方針(5)人権意識の向上と人権擁護

人権啓発運営事業	しあわせ推進課	1,488	708	維持
人権同和問題啓発維持管理事業	しあわせ推進課	1,137	966	維持
人権同和問題啓発運営事業	しあわせ推進課	627	715	維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎男女共同参画は、働き方改革や女性活躍推進法などの国の施策の推進にみられるように社会的な取組である。市では昨年度、行政改革推進委員会において、重点取組テーマとして審議し、時間外勤務の縮減、在宅勤務の試行などに取り組んだ。市内事業所にも徐々に浸透しつつあるが、「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所数は昨年度と同数となった。 ◎虐待予防では、広報紙を通じて家庭児童相談日を周知するとともに、児童の就学先等へ状況確認するなど関係機関との連携が回りやすくなったこと、また、係に専門職を配置して家庭児童相談室との連携を強化したことで早期の相談者が増加した。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎審議会等の女性委員の登用を促進するため、各所属に周知を図ったほか、必要に応じて指導を行った。また、委員の選任に際しては、一方の性別に偏らないよう男女の比率に配慮した。 ◎虐待予防事業として、「ベビープログラム」を保健センターと子育て支援センターを会場に毎月1回実施し、参加者を受け入れる体制を整えた。		
III. 今後の展開方向	◎ワーク・ライフ・バランスの確立に向け、市役所が地域を先導する事業所として環境整備に取り組みるとともに、市内事業所に対して周知を図っていく。 ◎児童虐待や家庭内暴力の根絶に向け、県などの関係機関や家庭児童相談室との密な連携により、効果的な相談体制を築いていく。 ◎偏見や差別のない社会の実現に向け、人権教室や人権相談などの取組を引き続き実施していく。		